

観光地域づくり法人形成・確立計画

令和5年7月1日

1. 観光地域づくり法人の組織

申請区分 ※該当するものを○で囲むこと	広域連携DMO・ 地域連携DMO ・地域DMO	
観光地域づくり法人の名称	公益財団法人 宮ヶ瀬ダム周辺振興財団	
マーケティング・マネジメント対象とする区域	相模原市の一部（緑区根小屋、長竹、青山、鳥屋）、厚木市の一部（飯山、七沢）、愛甲郡愛川町及び清川村の全域	
所在地	神奈川県愛甲郡清川村宮ヶ瀬940-4	
設立時期	平成4年10月1日	
職員数	129人【常勤16人（正職員13人・出向3人）、非常勤15人】	
事業年度	4月1日から翌年3月31日までの1年間	
代表者（トップ人材：法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者） ※必ず記入すること	（氏名） 理事長 仲谷 政二郎 （出身組織名） 宮ヶ瀬ダム周辺振興財団	関係市町村長、学識経験者、法律の専門家から構成される公益財団法人宮ヶ瀬ダム周辺振興財団の理事会の代表理事であり、財団を代表し、宮ヶ瀬湖周辺地域の活性化及び水源環境理解促進事業を推進している。
	（氏名） 常務理事兼事務局長 志村 政浩 （出身組織名） 宮ヶ瀬ダム周辺振興財団	公益財団法人宮ヶ瀬ダム周辺振興財団の常務理事兼事務局長として宮ヶ瀬湖周辺地域の活性化及び水源環境理解促進事業を推進し、財団における観光振興や地域マーケティング等の事務統括を行っている。
	（氏名） 総務経営課長 内田 祐樹 （出身組織名） 神奈川県派遣	財団における経営戦略会議の構成員として、乗物、駐車場、施設関係の統計データの取りまとめや分析を行うとともに、経営戦略や財務指標の取りまとめや分析を担当している。
	（氏名） 企画振興課長 佐藤 正五 （出身組織名） 宮ヶ瀬ダム周辺振興財団	財団における経営戦略会議の構成員として、乗物、駐車場、施設関係の統計データの基礎分析、課題対策、宮ヶ瀬湖周辺施設の来訪者動向調査をとりまとめ、事業・イベント企画、収益事業を行っている。
	（氏名） 施設課長 川崎 俊明 （出身組織名） 宮ヶ瀬ダム周辺振興財団	財団における経営戦略会議の構成員として、乗物、駐車場、施設関係の統計データの基礎分析、課題対策を行うとともに、国受託事業、県指定管理事業の進捗統計などの取りまとめを行っている。
財務責任者 （CFO：チーフ・フィナンシャル・オフィサー） ※必ず記入すること	（氏名） 常務理事兼事務局長 志村 政浩 （出身組織名） 宮ヶ瀬ダム周辺振興財団	公益財団法人宮ヶ瀬ダム周辺振興財団の常務理事兼事務局長として宮ヶ瀬湖周辺地域の活性化及び水源環境理解促進事業を推進し、財団における観光振興や地域マーケティング等の事務統括を行っている。

様式 1

<p>宮ヶ瀬湖のワンストップ窓口「ミーヤ館」の責任者</p>	<p>(氏名) みやがせミーヤ館副館長 齋藤 雅也 (出身組織名) 宮ヶ瀬ダム周辺振興財団</p>	<p>様々な団体が小中沢駐車場をはじめ、園地全体で様々な事業を実施している。 財団設立趣旨の水源環境理解促進や地域活性化推進の考え方に立ち、地域連携DMOとしてのマネージメント・コーディネート力を発揮した外部団体による催事等の積極的誘致・招聘を実施する。 また宮ヶ瀬ダム周辺活動団体等とのパイプ役として交流会のとりまとめを実施している。</p>
<p>工芸技術の育成及び販売の責任者（専門人材）</p>	<p>(氏名) 工芸工房村館長 後藤 守 (出身組織名) 宮ヶ瀬ダム周辺振興財団</p>	<p>財団が指定管理者となっている県立あいかわ公園工芸工房村（伝統工芸等体験工房）の責任者として、機織り、紙すき、染色、陶芸、木竹工などの独自商品開発や体験メニューの開発を行い、体験者数の増加に貢献している。</p>
<p>各部門（独自商品の開発・販売）の責任者（専門人材）</p>	<p>(氏名) みやがせミーヤ館館長 (兼務) 志村 政浩 (出身組織名) 宮ヶ瀬ダム周辺振興財団</p>	<p>財団が指定管理者となっている、みやがせミーヤ館（総合案内：地域観光情報の一元提供等によるワンストップ施設）の責任者として、宮ヶ瀬湖畔園地に生息する動植物をモデルにした独自の園地グッズ開発や自然体験メニューの開発を行い、体験者数の増加に貢献している。</p>

様式 1

連携する地方公共団体の担当部署名及び役割	下記のとおり
----------------------	--------

担当部署名	役割
神奈川県政策局政策部土地水資源対策課 (出捐団体、指定管理：宮ヶ瀬やまなみセンター)	県における財団の所管課として、地域活性化・水源環境理解促進などの総合的な助言等
神奈川県スポーツ局スポーツ課 (指定管理：宮ヶ瀬湖カヌー場)	県立宮ヶ瀬湖カヌー場の所管課として、スポーツ振興の助言等
神奈川県環境農政局緑政部自然環境保全課 (指定管理：宮ヶ瀬湖集団施設地区及び鳥居原園地)	自然公園関係の所管課として、自然環境保全の総合的な助言等
神奈川県自然環境保全センター (指定管理：宮ヶ瀬湖集団施設地区及び鳥居原園地)	宮ヶ瀬湖集団施設地区及び鳥居原園地の管理事務所として自然環境保全の助言等
神奈川県厚木土木事務所 (指定管理：県立あいかわ公園等)	県立あいかわ公園及び厚木市内の県立七沢森林公園の管理者として都市公園に関する助言等
神奈川県厚木土木事務所津久井治水センター	近隣にある県立津久井湖城山公園の管理者として都市公園に関する助言等
神奈川県県央地域県政総合センター (評議員選出)	県央地域における観光振興、総合的な企画などに関する助言等
相模原市市長公室シビックプライド推進部 観光・シティプロモーション課	相模原市に関する観光振興に関する連携事業、助言等
相模原市環境経済局経済部森林政策課 (出捐団体、理事選出)	相模原市における財団の連絡調整窓口として連携事業などに関する助言等
相模原市緑区役所津久井まちづくりセンター	相模原市緑区のうち旧津久井町エリアに関係する観光振興に関する助言等
厚木市産業振興部観光振興課 (出捐団体、理事選出)	厚木市に関する観光振興に関する連携事業、助言等
愛川町環境経済部商工観光課 (出捐団体、理事選出)	愛川町に関する観光振興に関する連携事業、助言等
愛川町教育委員会	県立あいかわ公園内歴史学習施設である愛川町郷土資料館との連携事業、助言等
清川村政策推進課 (出捐団体、理事選出)	清川村に関する総合政策、宮ヶ瀬水の郷地域及び湖畔園地活性化に関する連携事業、助言等
清川村産業観光課	清川村に関する観光振興に関する連携事業、助言等
清川村教育委員会	やまびこマラソン（宮ヶ瀬湖畔園地イベント）など連携事業、助言等

様式 1

担当部署名	役割
神奈川県内広域水道企業団 (出捐団体、特別地方公共団体、評議員選出)	水源環境理解促進、地域活性化などに関する助言等

※地方公共団体外

国土交通省関東地方整備局 相模川水系広域ダム管理事務所	宮ヶ瀬ダム水源地域ビジョンを所管し、宮ヶ瀬ダム周辺における活性化などに関する助言等
--------------------------------	---

連携する事業者名及び役割	下記のとおり
--------------	--------

事業者名	役割
スルガ銀行株式会社 (出捐団体、評議員選出)	水源環境理解促進、地域活性化などに関する助言等
小田急電鉄株式会社 (出捐団体、評議員選出)	交通アクセス、周遊企画乗車券、サービス連携、観光PR連携
神奈川中央交通株式会社 (出捐団体、評議員選出)	交通アクセス、周遊企画乗車券、サービス連携(イベント時のバスの増便)、観光PR連携
相模川漁業協同組合連合会 (出捐団体、評議員選出)	水源環境理解促進、地域活性化事業連携
愛川町観光協会	県立あいかわ公園物産販売、観光案内
一般財団法人繊維産業会	工芸工房村と連携した伝統工芸体験
宮ヶ瀬水の郷観光協同組合	観光案内、イベント連携、物産販売、飲食の提供
coen 宮ヶ瀬地区公共施設管理事務所 (株式会社コーエン)	水の郷駐車場、湖畔園地プロムナード等施設管理、イベント連携
有限会社鳥居原	鳥居原ふれあいの館管理、農産物直売、イベント連携
公益社団法人神奈川県馬術協会	津久井馬術場管理、イベント連携
一般社団法人厚木市観光協会	観光案内、イベント連携、物産販売
飯山観光協会	飯山地区の観光振興に向けた事業の実施ほか
七沢観光協会	七沢地区の観光・商工業・農林園芸振興に向けた事業の実施ほか
東丹沢七沢旅館組合	東丹沢七沢温泉郷の振興に向けた事業の実施
みどりと清流のふるさと創造委員会	飯山地域の活性化に向けた取組

様式 1

事業者名	役割
津久井観光協会	観光案内、写真コンテスト等イベント連携
愛甲商工会	愛川町、清川村に係る観光、産業、特産品などの商工業連携
清川村商工共栄会	清川村煤ヶ谷地区に係る観光、産業、特産品などの商工業連携
道の駅「清川」指定管理者	観光案内、特産品販売等の連携
津久井商工会	旧津久井町に係る観光、産業、特産品などの商工業連携
相模原商工会議所	相模原市における観光、産業、特産品などの商工業連携
厚木商工会議所	厚木市における観光、産業、特産品などの商工業連携
神奈川県カヌー協会	カヌー競技の普及振興連携
NPO 法人きよかわアウトドアスポーツクラブ	宮ヶ瀬湖等をフィールドにカヌー等のアウトドアスポーツ展開連携
NPO 法人かながわフィールドスタッフクラブ	自然観察会を通じた自然環境の保護と保全理念の発信・普及連携
NPO 法人宮ヶ瀬湖ボートクラブ	宮ヶ瀬湖等でのボートを通じ広く生涯スポーツの普及・定着と振興連携
神奈川県立愛川ふれあいの村	宮ヶ瀬湖周辺における自然体験、野外活動、スポーツ、宿泊連携
公益財団法人神奈川県公園協会	丹沢大山の自然や観光案内等の連携(ビジターセンターや近隣都市公園の指定管理者)
株式会社農協観光	観光ツアーの企画
清川おやじの会	遊びを通じて子ども達と一緒に地域教育の実践連携
愛川町山岳会	山岳スポーツ・イベント協力
サークル愛川自然観察会	自然観察等イベント協力
株式会社ボーネルンド	みやがせミーヤ館の子供の遊具監修、イベント協力
相鉄ホールディングス株式会社 (出捐団体)	出捐等を通じた事業協力
株式会社横浜銀行 (出捐団体)	出捐等を通じた事業協力

様式 1

事業者名	役割
株式会社サカタのタネ (出捐団体)	出捐等を通じた事業協力
前澤工業株式会社 (出捐団体)	出捐等を通じた事業協力
一般財団法人ダム技術センター (出捐団体)	出捐等を通じた事業協力
一般財団法人水源地環境センター (出捐団体)	出捐等を通じた事業協力
一般社団法人関東地域づくり協会 (出捐団体)	出捐等を通じた事業協力
神奈川県農業協同組合中央会 (出捐団体)	出捐等を通じた事業協力

様式 1

官民・産業間・地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み

(該当する要件) ①②いずれも該当

- ① 取締役、理事など観光地域づくり法人の意思決定に関与できる立場で行政、文化、スポーツ、農林漁業、交通等の幅広い分野の関係団体の代表者が参画。

(概要)

財団の理事・評議員は、観光地域づくり法人として、マーケティングやマネージメントをする地域の市町村長、副市長、市町村議会議長（相模原市、厚木市、愛川町、清川村）、交通・金融・漁業関係者、学識経験者、弁護士等から構成され、定期的に理事会、評議会を開催し、運営方針を決定している。

公益財団法人 宮ヶ瀬ダム周辺振興財団の構成

理事：愛川町長、清川村長、相模原市副市長、

8名 厚木市副市長、学識経験者、弁護士

※他2名は理事長、常務理事

監事：清川村副村長、税理士

2名

評議員：市町村議会議長（相模原市、厚木市、愛川町、清川村）

10名 神奈川県県央地域県政総合センター所長

神奈川県内広域水道企業団副企業長

スルガ銀行株式会社厚木支店長

小田急電株式会社まちづくり推進部長

神奈川中央交通株式会社取締役常務執行役員経営戦略部長

相模川漁業協同組合連合会代表理事会長

② 観光地域づくり法人が主導して行政や関係団体をメンバーとするワーキンググループなどの委員会等を設置

(概要) 当財団が主導して、関係行政機関や地域で活動する団体を中心に、宮ヶ瀬湖周辺DMOネットワーク会議やワーキング部会を設置。DMOとしての取組みに関する交流・連携を行うために意見交換等を行っている。

宮ヶ瀬湖周辺DMO推進ネットワーク会議

<行政・関連団体>

国土交通省関東地方整備局相模川水系広域ダム管理事務所
 神奈川県政策局政策部土地水資源対策課
 神奈川県厚木土木事務所津久井治水センター
 相模原市環境経済局経済部森林政策課
 厚木市産業振興部観光振興課
 愛川町商工観光課
 清川村産業観光課
 神奈川県広域水道企業団、神奈川県立愛川ふれあいの村

<教育委員会>

愛川町教育委員会、清川村教育委員会

<財団法人>

(一財) ダム技術センター、(一財) 水源地環境センター
 (一財) 関東地域づくり協会、(公財) 神奈川県公園協会
 (一財) 繊維産業会

<観光協会>

厚木市観光協会、愛川町観光協会、飯山観光協会
 七沢観光協会、津久井観光協会

<事業者組合>

東丹沢七沢旅館組合、宮ヶ瀬水の郷観光協同組合

<商工会等>

相模原商工会議所、厚木市商工会議所、津久井商工会、愛甲商工会
 清川村商工共栄会

<金融機関>

スルガ銀行、横浜銀行

<交通事業者>

小田急電鉄(株)、相鉄ホールディングス(株)、神奈川中央交通(株)

<農協・漁協>

神奈川つくい農業協同組合、相模川漁業協同組合連合会

<旅行者者>

(株)農協観光

<一般企業>

(株)ポーネルド、(株)サカタのタネ、前澤工業(株)



<観光拠点管理団体>

鳥居原ふれあいの館指定管理者 (有)鳥居原
 道の駅「清川」指定管理者 (株)アグリメディア
 coen 宮ヶ瀬地区公共施設管理事務所 (株式会社コーエン)

<スポーツ団体>

(公財) 神奈川県馬術協会、神奈川県カヌー協会、愛川山岳会

様式 1

	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p><NPO団体> きよかわアウトドアスポーツクラブ、宮ヶ瀬湖ボートクラブ、 かながわフィールドスタッフクラブ</p> <p><任意団体等> みどりと清流のふるさと創造委員会、緑と清流のふるさと七沢委員会、 清川おやじの会、サークル愛川自然観察会</p> </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">宮ヶ瀬湖周辺DMO推進ネットワーク会議</p> <p>活動例：地域クーポン券検討、ツアー企画開発、 宮ヶ瀬ダム監査廊利活用報告（ダム貯蔵酒）</p> </div>																																								
<p>地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組</p>	<p>宮ヶ瀬湖周辺DMOネットワーク会議やワーキング部会を開催することで地域住民を含んだ宮ヶ瀬湖周辺での活動する団体の横断的な情報交換や連携強化を図っている。</p> <p>宮ヶ瀬湖周辺での活動団体を集めた交流会を開催。各団体の活動報告や先進地域の中心人物の講演などを盛り込んだ内容で、地域意識の形成に取り組んでいる。</p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>宮ヶ瀬湖周辺活動団体等交流会</p> <table border="0"> <tr><td>H25年度</td><td>第1回</td><td>29団体</td><td>51人参加</td></tr> <tr><td>H26年度</td><td>第2回</td><td>36団体</td><td>71人参加</td></tr> <tr><td>H27年度</td><td>第3回</td><td>50団体</td><td>81人参加</td></tr> <tr><td>H28年度</td><td>第4回</td><td>58団体</td><td>101人参加</td></tr> <tr><td>H29年度</td><td>第5回</td><td>53団体</td><td>81人参加</td></tr> <tr><td>H30年度</td><td>第6回</td><td>48団体</td><td>77人参加</td></tr> <tr><td>R元年度</td><td>第7回</td><td>中止</td><td>※コロナウィルス感染症の影響のため</td></tr> <tr><td>R2年度</td><td>第7回</td><td>中止</td><td>※コロナウィルス感染症の影響のため</td></tr> <tr><td>R3年度</td><td>第7回</td><td>中止</td><td>※コロナウィルス感染症の影響のため</td></tr> <tr><td>R4年度</td><td>第7回</td><td>中止</td><td>※コロナウィルス感染症の影響のため</td></tr> </table> </div>	H25年度	第1回	29団体	51人参加	H26年度	第2回	36団体	71人参加	H27年度	第3回	50団体	81人参加	H28年度	第4回	58団体	101人参加	H29年度	第5回	53団体	81人参加	H30年度	第6回	48団体	77人参加	R元年度	第7回	中止	※コロナウィルス感染症の影響のため	R2年度	第7回	中止	※コロナウィルス感染症の影響のため	R3年度	第7回	中止	※コロナウィルス感染症の影響のため	R4年度	第7回	中止	※コロナウィルス感染症の影響のため
H25年度	第1回	29団体	51人参加																																						
H26年度	第2回	36団体	71人参加																																						
H27年度	第3回	50団体	81人参加																																						
H28年度	第4回	58団体	101人参加																																						
H29年度	第5回	53団体	81人参加																																						
H30年度	第6回	48団体	77人参加																																						
R元年度	第7回	中止	※コロナウィルス感染症の影響のため																																						
R2年度	第7回	中止	※コロナウィルス感染症の影響のため																																						
R3年度	第7回	中止	※コロナウィルス感染症の影響のため																																						
R4年度	第7回	中止	※コロナウィルス感染症の影響のため																																						

様式 1

法人のこれまでの活動実績

(活動の概要)

○ 財団設立の趣旨

宮ヶ瀬ダム貯水池及び周辺地域をダム空間の特性を生かした自然の保護と開発の調和のとれた都市近郊リゾート地として形成していくため、貯水池周辺地域の環境保全及び整備に関する企画立案及び合意形成の促進、拠点施設の整備・管理等を行い、もって都市と貯水池周辺地域及び人と自然の交流・共存による水源地域の保全と振興に寄与することを目的として当財団を設立した。

○ 沿革

- 平成 4 年 10 月 1 日 出資者は、地方自治体 6 団体及び民間 10 団体、基本財産 15 億円をもって、財団法人宮ヶ瀬ダム周辺振興財団を厚木市恩名 102 番地の 2 に設立した。
- 平成 6 年 3 月 29 日 出資者を、民間 2 団体増加するとともに、基本財産 2,000 万円を増額した。出資者は、18 団体、基本財産は 15 億 2,000 万円となった。
- 平成 10 年 9 月 1 日 事務所を愛甲郡清川村宮ヶ瀬 940-4 番地に移転した。
- 平成 23 年 9 月 21 日 公益財団法人への移行について、神奈川県知事の認定を受けた。
- 平成 23 年 10 月 3 日 移行登記が完了し、公益財団法人に移行した。
- 平成 29 年 11 月 28 日 観光庁より日本版DMO法人として登録認定された。

(令和 2 年 4 月 15 日「登録 DMO」に名称変更、令和 3 年 1 月 7 日登録更新)



○事業活動の概況

会計として公益目的事業会計・収益事業等会計及び法人会計に区分して事業を実施。

・公益目的事業

豊かな自然や宮ヶ瀬湖周辺地域の特性等を生かしながら、地域の活力を引き出し、魅力ある地域づくりを進めるため、県民の水源環境に対する理解を促進し、宮ヶ瀬湖周辺の活性化の推進を行うことにより、宮ヶ瀬湖周辺地域の振興と発展を図る。

水源環境の理解促進（財団の取組）

取組の内容

項目	内容
自然体験教室	植物、動物・昆虫、水源等にふれる自然体験
カヌーと自然観察	本湖でのカヌー体験と自然観察のコラボ
都市での広報活動	交通事業者と提携し、駅前での地域紹介
企業・学校等の環境活動誘致	企業、学校の社会的貢献として植樹など環境活動誘致
ダム見学者へのレクチャー	小学校の社会見学や一般の来訪者への説明・案内
宮ヶ瀬湖憲章の普及啓発	ノベルティグッズの配布等による憲章の普及啓発



自然体験教室



Eポートによる自然観察とのコラボイベント



都市部イベントでの広報活動

4 地域活性化の推進（財団の取組）

取組の内容

項目	内容
大規模事業(3拠点イベント)	季節ごとに開催
小規模事業	郷土・伝統工芸等の地域資源を活用した体験イベント
伝統工芸の体験	工芸工房村での陶芸、木工工、染色等の体験
遊具、アスレチック体験	ふわふわドーム、冒険の森などでの遊び体験
スポーツイベント	カヌースクール
団体交流事業	宮ヶ瀬湖周辺地域で活動する団体の交流会
調査研究、写真コンテスト	来訪者の動向調査、写真コンテスト・カレンダー作成



みやがせフェスタARイベント



よもぎ団子作り



工芸工房村体験

・収益事業等

財団経営基盤の強化及び公益活動を充実するため、宮ヶ瀬湖周辺有料施設運営事業として、湖畔地区等有料施設の運営、あいかわ公園有料施設の運営及び有料乗物の運営等を行う。

乗物運行・運航（財団の取組）

取組の内容

項目	内容
湖畔ロードトレイン（ミーヤ丸）	宮ヶ瀬湖畔園地で運行、クリスマス期間ナイト運行
ダムサイトロードトレイン（愛ちゃん号）	あいかわ公園パークセンター～ダム下の運行
インクライン	ダム建設時の施設を活用し、ダム堤体部の昇降
遊覧船 ミーヤ丸	3拠点をつ結ぶ湖上遊覧船の運航
シャトルバス	繁忙期に3拠点を巡回する無料バスの運行



ダムサイトロードトレイン
(愛ちゃん号)



インクライン



遊覧船ミーヤ丸

・法人運営事業

財団運営に関し、重要な事項を議決するため、理事会・評議員会を開催し、宮ヶ瀬湖周辺地域の環境保全、施設の活用及び地域活性化の推進を図るため、企画・計画及び調整を行う。

(定量的な評価)

○宮ヶ瀬湖周辺3拠点における施設利用者数の推移 (人)

区 分	宮ヶ瀬湖畔地区	ダムサイト地区	鳥居原地区	合 計
H25 年度	705,342	763,954	131,472	1,600,768
H26 年度	629,834	747,744	129,572	1,507,150
H27 年度	695,986	758,874	135,676	1,590,536
H28 年度	635,278	772,562	142,857	1,550,697
H29 年度	649,753	875,499	141,878	1,667,130
H30 年度	653,436	793,753	145,238	1,592,427
R 元年度	586,350	722,445	122,739	1,431,534
R 2 年度	268,826	432,348	78,220	779,394
R 3 年度	395,206	429,772	77,889	902,867
R 4 年度	545,093	701,125	95,755	1,341,973



○ 主なイベント参加者の推移 (人)

区 分	3 拠点 イベント※1	24 時間 リレーマラソン※2	その他 イベント※3	実行委員会 イベント※4
H25 年度	39,648	3,000	84,954	305,000
H26 年度	45,235	8,000	72,196	225,000
H27 年度	43,138	10,500	69,964	242,000
H28 年度	21,062	7,200	103,160	225,000
H29 年度	35,761	2,000	117,259	225,000
H30 年度	44,604	1,800	83,351	226,000
R 元年度	19,075	1,500	43,134	206,000
R 2 年度	0	0	55,720	0
R 3 年度	115,744	0	15,094	120,000
R 4 年度	77,000	0	48,832	125,832

- ※1 財団主催 3拠点イベント 宮ヶ瀬フェスタ
(新型コロナウイルス感染拡大に伴い、実施日を分散させて開催)
- ※2 財団主催 宮ヶ瀬湖 24時間リレーマラソン
(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)
- ※3 財団主催 自然観察、伝統工芸体験、カヌー教室等
(新型コロナウイルス感染拡大防止のため規模を縮小して実施)
- ※4 実行委員会参画
あいかわ公園つつじまつり
(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)

○ 財団収益事業のうち、乗物関係の利用者推移 (人)

区 分	湖畔ロード トレイン	ダムサイト ロードトレイ ン	インクライン	遊覧船
H25 年度	47, 153	81, 525	87, 079	22, 593
H26 年度	46, 497	79, 928	75, 271	26, 990
H27 年度	52, 775	85, 958	89, 387	29, 101
H28 年度	44, 768	88, 698	98, 737	20, 075
H29 年度	45, 262	91, 046	114, 590	12, 629
H30 年度	40, 491	79, 429	95, 253	21, 132
R 元年度	28, 829	65, 003	72, 215	17, 034
R 2 年度	11, 092	36, 765	83, 850	11, 654
R 3 年度	6, 009	16, 967	52, 660	7, 687
R 4 年度	11, 803	28, 118	134, 044	18, 582

(DMO 登録後の活動実績)

① 地域クーポンの発行

平成 30 年度から DMO 地域内の店舗等で割引を受けられるクーポンを発行した。平成 30 年度には 33、令和元年度には 48 の店舗、施設でクーポン割引を実施し地域活性化を図った。(令和 2 年度～新型コロナウイルス感染状況、まん延防止のため発行見送り)



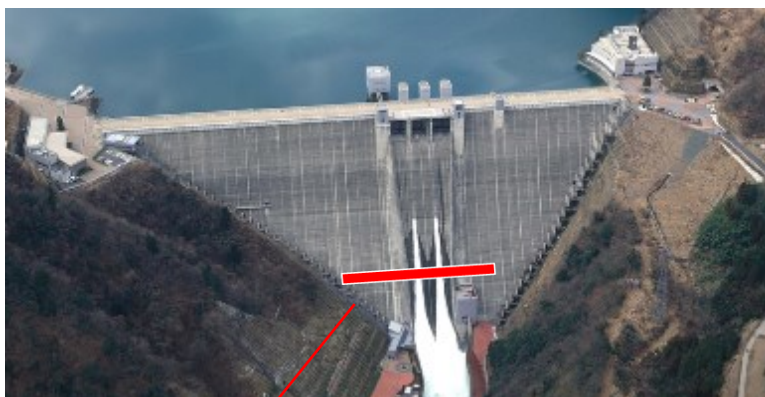
↑ 令和元年発行 地域クーポン表紙

様式 1

② ダム監査廊の利活用による地域活性化

令和元年度から地元酒造の日本酒をダム監査廊に貯蔵し、既存の観光資源である「宮ヶ瀬ダム」と地酒をコラボレートした「ダム貯蔵酒」として貯蔵、地域での販売を継続している。

「第10回かながわ観光大賞」で審査員特別賞を受賞(令和2年3月)。



③ 宮ヶ瀬グルメ開発

地域活性化を図るため、宮ヶ瀬の食を通じた観光消費額拡大、来訪者増加等を目的とし新たなグルメを創出する事業を神奈川県から受託した。宮ヶ瀬湖周辺事業者と連携協力し「宮ヶ瀬豚まん」を共同開発、各販売店舗こだわりのソース等を使用し、試行販売を実施した。



宮ヶ瀬豚まんチラシ



たっこ家絆 ver



レイクサイドカフェ ver



童人夢農場 ver

↑ 広告

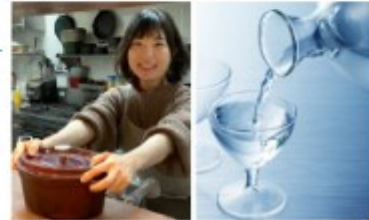
⑤ 日本酒ペアリングイベント

宮ヶ瀬湖近隣の4酒蔵の日本酒と、周辺4市町村の特産品、食材を活用したペアリング料理を提供するイベントとして企画開催し、地域特産品のPRにも繋がった。

●飲食 申込期間11月10日(水)まで【キャンセル条件:A】

厚木はるひごはんで楽しむ
日本酒ペアリング料理

「ストウブ鍋」を使ったお料理の第一人者の大橋由香氏は、「日本酒好き」を自認する人気の料理研究家。宮ヶ瀬湖周辺の4酒蔵の地酒とともに、ペアリング料理をお楽しみください。



- 日時 ①11月20日(土) 17:00~19:00 ②11月21日(日) 12:00~14:00
- 場所 ストウブピストロはるひごはん(本厚木駅徒歩約5分) ■ 定員 各回18名
- 参加費 5,500円(一般価格6,000円)

【申込】 イベントコード ①211133 ②211134

↑ 募集広告

日本酒ペアリング実施中の様子



垂升 宮ヶ瀬ダム貯蔵酒 特別純米原酒

このお酒は宮ヶ瀬ダム周辺の活性化事業の一環として生まれました。ダム監査館内に1年を通し1より度の恒温でお酒の貯蔵に選んだ環境です。ゆっくりと醸成しさらやかな味のある酒質に仕上がりました。酒造好適米山田錦を使用し、酒水などあまり手を加えることなく熟成したままの姿をお楽しみください。

厚木市 真金井酒造



残草僅菜 純米吟醸ティーン

「残草僅菜」は爽やかな飲み口の軽やかな酒質に仕上がっています。ティーンアップは酸質低、低アルコールは爽やかな特徴があります。爽やかなベリー系の香りと旨みたっぷりのジュシーでクリアな味わいが楽しめます。「12-ティーン」が名前の由来です。

北川町 大矢井酒造



相模灘 純米吟醸美山錦

原野産美山錦を50%まで磨き上げて仕込んだ純米吟醸。糖質を美山錦の特性を活かすべくオーソドックスな5号磨りで醸しました。美山錦の軽快な口あたりと9号磨りの爽やかな吟醸酒で自然と酔が深みます。相模灘の中では定番の酒造で年輩を通じて最も人気があります。

相模原市緑区 久保田酒造



巖乃泉 吟醸純米酒

巖乃泉は丹波山米の豊かな自然に囲まれた環境で創業から200年以上続く伝統の技により育まれたお酒です。吟醸純米酒は、スッキリとした味わいの中にもお米本来の上品な甘みと旨みが特徴です。

相模原市緑区 清水酒造



- さんまの丸ごとチリヌット
- 清川村恵水ポークの薫製
- 厚木産のさつまいも醤油麹
- 愛川町糠草のマリネ
- 厚木産柿の蜂蜜マリネ
- 厚木のチーズ
- 厚木の野菜の吹き込みごはん

⑥ みやがせ検定

WEB上にサイトを立ち上げ、多くの方に宮ヶ瀬湖周辺エリアの魅力を知ってもらうため、宮ヶ瀬ダムサイトエリア・宮ヶ瀬湖畔エリア・鳥居原エリアを中心に、神奈川県愛甲郡清川村、愛川町、厚木市飯山七沢温泉、相模原市緑区の観光資源・施設や店舗、また、アクティビティなどからクイズを作成したもの。

めざせ! 宮ヶ瀬博士

みやがせ? 検定

この遊覧船の名前は?
ミーヤ丸? 愛ちゃん丸? 武蔵丸?

宮ヶ瀬湖周辺エリアの
様々な情報をクイズで紹介!
観光・自然・グルメなど盛りだくさんの30問!
いくつ答えられるかな?

みやがせ検定チャレンジの方法

https://miyagase-kentei.jp に
アクセスして全30問の3択問題に
チャレンジ!

QRコードは
こちら!

みんなの
チャレンジ
まってるよ〜!

みやがせミーヤ

公益財団法人宮ヶ瀬ダム周辺振興財団 046-288-3600 ホームページ ぐるり宮ヶ瀬湖

↑ 広告

- ⑦ YouTube「宮ヶ瀬愛ちゃんネル」
 コロナ禍における来訪者誘致・周遊促進事業として、宮ヶ瀬周辺地域の自然、グルメ、観光などの情報を発信した。



↑宮ヶ瀬愛ちゃんネル「ネイチャー山田のみやがせ探検隊」



↑宮ヶ瀬愛ちゃんネル「グルメ散歩プラス」



↑宮ヶ瀬愛ちゃんネル「観光めぐり人めぐり」

- ⑧ サンキュービーバー宮ヶ瀬探偵事務所(仮)
 コロナ禍における来訪者誘致・周遊促進事業として、全5話からなるオリジナルミニドラマを作成。宮ヶ瀬湖周辺地域をロケ地として、地域の風景や観光スポット、アクティビティ、グルメなどをストーリーに盛り込み、ロケ誘致や地域の活性化につながるようYouTube「宮ヶ瀬愛ちゃんネル」で発信した。



↑ ドラマポスター

⑨ 宮ヶ瀬湖周辺の体験ツアー

小田急電鉄（株）との共同企画により、宮ヶ瀬ダム監査廊の特別見学や乳しぼり体験が出来る「社会科見学ツアー」と称したバスツアーを実施した。



NEWS RELEASE



第22-21号
2022年6月22日

地域の企業や団体と協力し、沿線の魅力に幅広く触れる日帰りシリーズ企画をスタート！

7月30日、8月20日「小田急まなたび de 社会科見学ツアー」実施

～第1弾は「神奈川県央」が舞台 宮ヶ瀬ダムの内部やオギノパン本社工場見学、名物グルメ堪能も～

小田急電鉄株式会社（本社：東京都新宿区 社長：星野 晃司）は、2022年7月30日（土）に小田急まなたび企画の一環として、大人からお子さままでお楽しみいただける日帰りバスツアーのシリーズ企画「小田急まなたび de 社会科見学ツアー」をスタートします。

この第1弾企画として公益財団法人宮ヶ瀬ダム周辺振興財団（理事長：和田 久）と協力し、7月30日（土）と8月20日（土）に「宮ヶ瀬ダム監査廊」特別見学&服部牧場・オギノパン本社工場見学へ」を実施します。

新シリーズ「小田急まなたび de 社会科見学ツアー」は、普段立ち入ることができないスポットの見学など、地域の企業や団体との共創をコンセプトに、小田急沿線の魅力の再発見や、小田急グループをはじめとした乗り物をテーマとして定期開催します。特定ジャンルを深く掘り下げる従来の「まなたび企画」をさらに充実させ、これを機会に幅広い方に興味・関心を持っていただけるように、遠方にお住まいの方にも、その地域にお住まいの方にもお楽しみいただけるような企画を実施していきます。

海老名駅付近からバスで出発する第1弾企画は、宮ヶ瀬ダム周辺振興財団との連携により、普段は関係者以外立ち入ることができないダム内部に備わる管理用通路「監査廊」を特別に見学いただけます。猛暑日でもひんやり涼しい特別な施設内で、探検気分を味わいながらダムの仕組みや役割などを学ぶことができます。また、「宮ヶ瀬ダム水とエネルギー館」では、水資源の利用と保全の必要性・重要性を楽しみながら理解を深めていただけるほか、看板メニュー「丹沢あんぱん」が人気で地域の給食でも馴染みのオギノパン本社工場を見学いただけます。

さらに、地域の名物グルメを堪能いただけることが特長で、服部牧場では新鮮牛乳で作ったジェラートを、昼食には宮ヶ瀬ダムを一望できるレイクサイドカフェで「宮ヶ瀬ダム放流カレー」をお楽しみいただけるほか、オギノパンの「丹沢あんぱん」をお土産としてお持ち帰りいただけます。





服部牧場
夏の宮ヶ瀬湖
オギノパン本社工場

「小田急まなたび」は、「沿線の文化や歴史の再発見」や「学びある体験や旅行」を提供する特別企画です。沿線の観光地やレジャースポットなど、その土地でしか味わえない楽しみ方をご提案し、地域の方々も協力して、訪れるお客さまに地域の魅力を伝えています。この取り組みを通じて、沿線地域の観光地が人々の笑顔であふれ、訪れたお客さまがその地域に愛着をもっていただけるように、今後も学びと旅の企画を造成してまいります。

↑リリース内容

宮ヶ瀬ダム監査廊特別見学の様子



- ⑩ 宮ヶ瀬バレンタイン
閑散期である1月から3月に来訪・集客を促す事業として、「宮ヶ瀬バレンタイン」イベントを地元商店街と連携した限定メニューの提供や、清川村の指定管理者なども巻き込んだ地域と密接に連携し実施した。



宮ヶ瀬バレンタイン 2023冬

2/10 大雪のため、一部内容を変更し延期して開催します

流木フラワーアレンジメントが登場 SNS・記念撮影 OK



期間限定

2023.1.14(土)～2.19(日) 9:30～17:00
1/16、23、30、2/6、13はお休みです。

県立宮ヶ瀬やまなみセンター2階 特設コーナー

新進気鋭のフラワーアーティスト田中元気が手掛けたフラワーアレンジメントです。デザインに宮ヶ瀬湖の流木を使用しています。SNS、記念撮影など、自由にご利用ください。

宮ヶ瀬バレンタインメニュー

2023.2/18(土)、19(日)の2日間 **延長決定**

宮ヶ瀬水の郷商店街×宮ヶ瀬ダム周辺振興財団
期間限定メニューが登場。売り切れ御免！





メニューは一例です。詳しくはホームページをご覧ください。

私たち店主がメニューを考えました

イベント参加店舗（順不同）
宮ヶ瀬 Resort 旅館みはる、旅館（はたご）ふじ、たこ焼きたっこ家絆、和ごころカフェ絆、HIMARAK（ヒマラク）、Jacks-Diner（ジャックスダイナー）、Coffee J（コーヒージェイ）

宮ヶ瀬バレンタインコンサート

宮ヶ瀬水の郷プロムナード
2023.2/19(日)
12:00～

ぴいなっつ・ばたあ



昭和音楽大学声楽科出身で結成された、声楽アンサンブル。平成生まれながら、昭和歌謡に魅了され、さまざまな年代の歌謡曲のレパートリーを持つ！



ドロンス石本(司会)

舞台上にドラマと大活躍中のドロンス石本さんですが、YouTube ミニドラマ「サンキューヒーロー 宮ヶ瀬探偵事務所」で、謎の探偵役を演じています。「皆さんとお会いするのが楽しみです。」

2023.18(土)、19(日)の2日間
coen 宮ヶ瀬店バレンタインキャンペーン

2千円以上購入の方 **各日先着 30** 名様
オリジナル缶バッチ+特製ボールペン贈呈！

2023. 2/18(土)12:00～15:00

-観光情報サイト web アプリ-
ぐるり宮ヶ瀬版 PR キャンペーン

ログインされた方に粗品をプレゼント！
会場 宮ヶ瀬湖畔園地プロムナード



観光スポットや飲食店の情報が地図上で分かるサイト

2023.2/18(土)・19(日) 配布 14:00～15:30

縁結びチャームプレゼント

各日先着 250 名様

宮ヶ瀬のマスコット「みやがせミーヤ君」と「あいちゃん」がハート型チャームになりました。身に着ければ、恋愛成就間違いなし？（タテヨコ各約5センチ）

配布場所 県立宮ヶ瀬やまなみセンター2階 特設コーナー



2023. 2/19(日)まで-毎週月は休館日-

〈みやがせミーヤ館バレンタイン〉
バレンタイン限定キット販売

クラフトコーナーで製作体験もできます



天候等の理由による内容変更やイベント中止は、ホームページ・SNSで公表します。縁結びチャームは当日の混雑状況等により、予定より早く配布する場合があります。

公益財団法人 宮ヶ瀬ダム周辺振興財団



↑ 広報ポスター・チラシ

宮ヶ瀬バレンタインコンサートの様子



- ① 宮ヶ瀬湖周辺 AI オンデマンドバス実証実験
 神奈川県からの受託事業として、宮ヶ瀬湖周辺地域の宮ヶ瀬湖畔エリア、鳥居原エリア、県立あいかわ公園を含むダムサイトエリア内の8つの乗降ポイントを周遊するAI オンデマンドバスの実証実験を実施した。

ぐるっと 宮ヶ瀬湖周辺 AI オンデマンドバス
 あなたも乗ってみませんか?!

宮ヶ瀬湖周辺エリア（宮ヶ瀬湖畔園地・鳥居原園地・ダムサイトエリアの3拠点間）の周遊性を高めるため、スマートフォンで予約ができる「AI オンデマンドバス」の実証実験を行います。新しい取り組みに参加して、あなたの意見を聞かせてください。

乗降ポイント
 鳥居原ふれあいの館、宮ヶ瀬、宮ヶ瀬ダム水とエネルギー館、宮ヶ瀬ダム、宮ヶ瀬湖、あいかわ公園北駐車場、服部牧場、半原、愛川ふれあいの村、弘果山

運行時間
 午前10時～午後4時30分

乗車料金 無料

運行日カレンダー
 10月 2022年 月 火 水 木 金 土 日
 3 4 5 6 7 8 9
 10 11 12 13 14 15 16
 17 18 19 20 21 22 23
 24 25 26 27 28 29 30
 31
 11月 2022年 月 火 水 木 金 土 日
 1 2 3 4 5 6 7
 8 9 10 11 12 13 14
 15 16 17 18 19 20 21
 22 23 24 25 26 27 28
 29 30

予約方法
 アプリ E-Mot
 スマートフォンに、小田急電鉄 MaaS アプリ (E-Mot) をインストールの上、アプリから予約してください。利用の3日前～当日まで予約が可能です。詳しくはホームページをご覧ください。

利用促進キャンペーン
 AI オンデマンドバスを利用の方にプレゼント！
 特製オリジナルペン2本

注意事項
 ・一度に予約できる人数は、1名～8名ですが、予約状況により制限が生じる場合があります。
 ・予約は先着順のため希望する予約ができない場合があります。
 ・交通安全その他の諸事情により、予約ごとの時間帯に運行できない場合があります。これに起因してお客様が乗った乗客については、補償できかねますので予めご了承ください。
 ・新型コロナウイルス感染症防止の観点から、マスクの着用をお願いします。マスクの着用がない場合は利用をお断りする場合があります。

公益財団法人宮ヶ瀬ダム周辺振興財団 神奈川中央交通株式会社 車両運行 神奈中タクシー株式会社

↑ 広報ポスター・チラシ



↑ オンデマンドバス乗降ポイントの様子

様式 1

実施体制

※地域の関係者との連携体制及び地域における合意形成の仕組みが分かる図表等を必ず記入すること（別添可）。

(実施体制の概要)

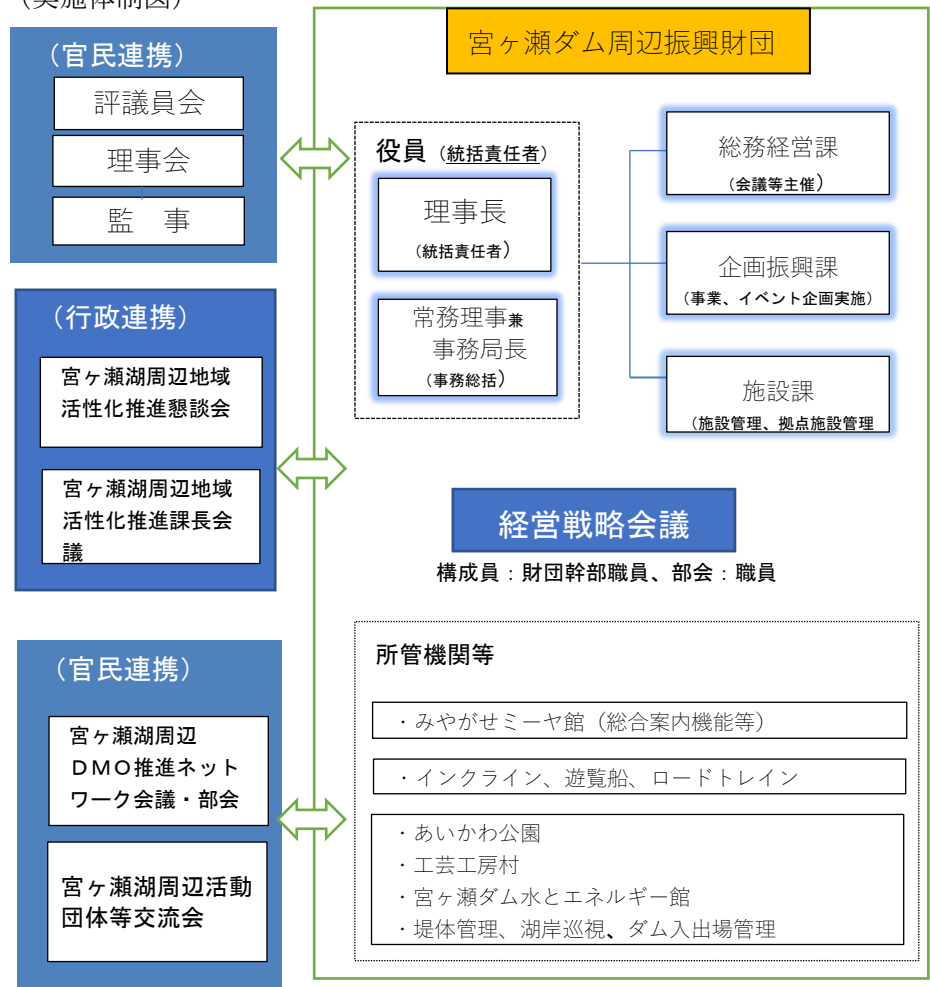
公益財団法人 宮ヶ瀬ダム周辺振興財団の経営戦略会議を中心に、観光地域づくり法人の機能を担う。

事業を推進するにあたっては、

- ① 関係行政機関、団体等で構成される評議員会、理事会
- ② 宮ヶ瀬湖周辺地域活性化推進懇談会、宮ヶ瀬湖周辺DMO推進ネットワーク会議、同ワーキング部会
- ③ 宮ヶ瀬湖周辺活動団体等交流会（行政、旅行者、観光組合、飲食業者、大学、スポーツ団体、交通事業者、農業・漁業者など多様な関係者の会）

これらを活用し、官民が密接に連携した運営を実施する。

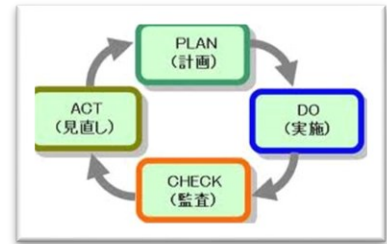
(実施体制図)



様式 1

〔経営戦略会議〕

- ・目的
財団をとりまく社会経済情勢、周辺環境、経営環境が大きく変化する中で、財団の目的及び時代要請に照らして実施事業を見直し、再構築し、経営改善を図るための会議
- ・構成員
理事長（座長）、常務理事兼事務局長、各課長、所長、館長
副館長、課長補佐
- ・設置
平成 25 年 4 月 1 日
業務実績と計画目標数値（目標、前年度、過去 5 年）の相違、要因分析を実施（四半期に 1 回）
- ・部会
課題事項を協議するための職員参加による意欲向上をねらいとして、部会を設置し検討・改善を実施



〔事務局職員〕

令和 5 年 4 月 1 日現在

職 名	氏 名	構 成 職 員 数				摘 要
		常勤	非常勤	日々雇用	計	
事務局長	志村政浩	1			1	神奈川県OB 常務理事兼事務局長兼ミーナ館館長
総務経営課長	内田祐樹	3	2	1	6	課長は神奈川県から派遣
企画振興課長	佐藤正五	4	1		5	課長は相模原市OB 職員 1 名は清川村から派遣
施設課長	川崎俊明	5		1	6	課長は神奈川県OB 職員 1 名は愛川町から派遣
計		13	3	2	18	

〔所管機関等施設配置職員〕

施 設 名	構 成 職 員 数				摘 要
	常勤	非常勤	日々雇用	計	
みやがせミーナ館	1	2	4	7	
宮ヶ瀬湖カヌー場		1	4	5	
宮ヶ瀬ダム水とエネルギー館		3	9	12	
インクライン			7	7	
園地管理			9	9	
堤体周辺管理			4	4	
湖岸・湖面巡視			4	4	
ロードトレイン			9	9	
遊覧船・グラススライダー			7	7	
県立あいかわ公園	1	2	23	26	
工芸工房村	1	4	8	13	
ダム入出場管理			8	8	
計	3	12	96	111	

2. 観光地域づくり法人がマーケティング・マネジメントする区域

【区域の範囲が分かる図表を挿入】



【区域設定の考え方】

- (全域) 愛川町、清川村
- (一部地域) 相模原市 (緑区根小屋、長竹、青山、鳥屋)
- 厚木市 (飯山、七沢)

宮ヶ瀬湖周辺地域の厳格なエリア区分定義は存在しないが、

- ・宮ヶ瀬湖は、清川村、愛川町、相模原市にまたがっており、宮ヶ瀬湖畔エリア (清川村)、鳥居原エリア (相模原市)、あいかわ公園・ダムサイトエリア (愛川町、相模原市) の3拠点が整備されていること。
- ・宮ヶ瀬湖への公共交通機関の主なアクセス起点が相模原市 (JR橋本駅)、厚木市 (小田急本厚木駅) であること。
- ・宮ヶ瀬湖への広域圏からの車での主なアクセス起点が、東名高速道路は、厚木インターチェンジ、圏央道は相模原インターチェンジであること。
- ・観光宿泊施設として、厚木市にある飯山・七沢温泉が宮ヶ瀬湖アクセス上にあること。
- ・相模川以西で、行政、歴史的にも厚木市、愛川町、清川村のつながりが強く、厚木市観光振興計画では、近隣自治体と連携した広域観光ルートづくりを挙げていること。
- ・平成4年10月1日の財団設立時に出資した市町村は、愛川町、清川村、相模原市 (旧津久井町)、厚木市であること。

顧客視点に立ち、旅行商品の開発、周遊ルートの企画など連携した取組や、観光資源の面からみてもコンセプトとして共通する点が多く、当該市町村で連携した区域設定とするのが適切と考える。

様式 1

【観光客の実態等】

○再掲:宮ヶ瀬ダム周辺振興財団集計

宮ヶ瀬湖周辺 3 拠点における施設利用者数の推移 (人)

区 分	宮ヶ瀬湖畔地区	ダムサイト地区	鳥居原地区	合 計
H25 年度	705,342	763,954	131,472	1,600,768
H26 年度	629,834	747,744	129,572	1,507,150
H27 年度	695,986	758,874	135,676	1,590,536
H28 年度	635,278	772,562	142,857	1,550,697
H29 年度	649,753	875,499	141,878	1,667,130
H30 年度	653,436	793,753	145,238	1,592,427
R 元年度	586,350	722,445	122,739	1,431,534
R 2 年度	268,826	432,348	78,220	779,394
R 3 年度	395,206	429,772	77,889	902,867
R 4 年度	545,093	701,125	95,755	1,341,973

○平成 26 年度河川水辺の国勢調査

(河川空間利用実態調査・ダム湖利用実態調査) より抜粋 国土交通省実施

1.5 ダム湖利用者数の多いダムとその特徴

■ ダム湖利用者総数の第一位は『宮ヶ瀬ダム』 ■

平成 26 年度年間利用者数の推計結果によると、年間利用者数の最も多いダムは宮ヶ瀬ダム（関東）であり、約 197 万人の利用があった。ベスト 10 のダムを地方別に見ると、東北 4 ダム、関東 3 ダム、近畿 2 ダム、九州 1 ダムとなっている。

各ダム湖及びその周辺の特徴をみると、宮ヶ瀬ダムでは及沢園地や県立あいかわ公園、御所ダムでは手づくり村、乗り物広場など、大都市の近郊に位置するもの、周辺に有名観光地や温泉施設があるもの、ダム湖周辺のスポーツ・レクリエーション施設が充実しているものが多い。

表 II.1.4 平成 26 年度年間利用形態別利用者数ベスト 10 (単位:千人)

順位	総計	利用形態別								イベント
		スポーツ	釣り	ボート	散策	野外活動	施設利用	その他		
1	宮ヶ瀬ダム 1,973	御所ダム 133	布目ダム 48	宮ヶ瀬ダム 14	宮ヶ瀬ダム 825	日吉ダム 84	宮ヶ瀬ダム 711	宮ヶ瀬ダム 332	宮ヶ瀬ダム 345	
2	御所ダム 1,018	天ヶ瀬ダム 113	下久保ダム 28	竜門ダム 11	七ヶ宿ダム 207	金山ダム 53	御所ダム 573	釜房ダム 165	釜房ダム 144	
3	日吉ダム 408	祖沢ダム 85	室生ダム 20	御所ダム 7	御所ダム 170	松原ダム 51	日吉ダム 258	御所ダム 108	御所ダム 129	
4	七ヶ宿ダム 377	土師ダム 77	三春ダム 20	矢木沢ダム 7	寒河江ダム 143	宮ヶ瀬ダム 39	草木ダム 252	鶴田ダム 71	浅瀬石川ダム 110	
5	草木ダム 375	宮ヶ瀬ダム 50	金山ダム 18	下久保ダム 5	浅瀬石川ダム 131	赤栄ダム 38	五十里ダム 225	天ヶ瀬ダム 69	松原ダム 51	
6	五十里ダム 353	嘉瀬川ダム 27	赤栄ダム 16	奈良保ダム 5	松原ダム 130	室生ダム 37	三春ダム 206	五十里ダム 46	鶴田ダム 50	
7	三春ダム 317	緑川ダム 23	高山ダム 15	嘉瀬川ダム 3	草木ダム 111	一庫ダム 37	七ヶ宿ダム 143	田瀬ダム 33	五十里ダム 34	
8	釜房ダム 294	竜門ダム 21	竜門ダム 15	福地ダム 3	一庫ダム 95	八田原ダム 36	嘉瀬川ダム 129	二瀬ダム 27	土師ダム 28	
9	天ヶ瀬ダム 270	一庫ダム 21	野村ダム 13	阿木川ダム 2	鶴田ダム 93	相保ダム 36	金山ダム 91	土師ダム 25	天ヶ瀬ダム 27	
10	嘉瀬川ダム 238	赤栄ダム 20	四十四田ダム 11	田瀬ダム 2	岩屋ダム 88	緑川ダム 35	釜房ダム 86	弱地ダム 24	野村ダム 26	

様式 1

○神奈川県入込観光客調査より抜粋 神奈川県ホームページ

(令和 4 年)

(単位：千人・千円)

市町村名	入込観光客数			観光客消費額			
	延観光客数	宿泊客数	日帰り客数	観光客消費額計	観光客宿泊費	飲食費	その他消費額
相模原市	6,318	508	5,811	2,284,371	1,962,039	218,726	103,606
厚木市	2,487	271	2,216	14,454,025	1,651,638	7,764,126	5,038,261
愛川町	1,183	46	1,138	540,074	394,776	110,984	34,314
清川村	2,304	9	2,296	317,391	27,511	35,768	254,112

(令和 3 年)

(単位：千人・千円)

市町村名	入込観光客数			観光客消費額			
	延観光客数	宿泊客数	日帰り客数	観光客消費額計	観光客宿泊費	飲食費	その他消費額
相模原市	5,218	515	4,702	2,894,195	2,505,928	287,779	100,488
厚木市	1,294	213	1,081	6,290,170	1,140,894	2,228,871	2,920,405
愛川町	606	21	584	257,521	187,887	53,145	16,489
清川村	2,403	9	2,393	286,797	28,772	31,304	226,721

主要観光地点・主要観光施設・主要観光行事別観光客数

(令和 4 年)

(単位：千人)

市町村	名称	調査区分	観光客数
相模原市	宮ヶ瀬湖（鳥居原）	地点	0
厚木市	飯山	地点	405
	七沢	地点	335
愛川町	宮ヶ瀬ダム水とエネルギー館	施設	146
	愛川町立郷土資料館	施設	68
	工芸工房村	施設	62
	県立あいかわ公園	施設	394
	レインボープラザ	施設	21
	ふるさとまつり・宮ヶ瀬ダムナイト放流	行事	31
清川村	県立宮ヶ瀬やまなみセンター	施設	110
	宮ヶ瀬水の郷交流館	施設	37
	県立宮ヶ瀬やまなみセンター別館	施設	101
	宮ヶ瀬	地点	2,304
	宮ヶ瀬桜まつり	行事	14
	宮ヶ瀬夏まつり	行事	30
	清川やまびこマラソン	行事	0
	宮ヶ瀬クリスマスみんなのつどい	行事	143

様式 1

(令和3年)

(単位：千人)

市町村	名称	調査区分	観光客数
相模原市	宮ヶ瀬湖（鳥居原）	地点	78
厚木市	飯山	地点	182
	七沢	地点	358
愛川町	宮ヶ瀬ダム水とエネルギー館	施設	30
	愛川町立郷土資料館	施設	33
	工芸工房村	施設	31
	県立あいかわ公園	地点	291
	あいかわ公園つつじまつり	行事	0
	半原糸の里文化祭・宮ヶ瀬フェスタ夏 in あいかわ	行事	0
清川村	県立宮ヶ瀬やまなみセンター	施設	63
	宮ヶ瀬水の郷交流館	施設	46
	県立宮ヶ瀬やまなみセンター別館	施設	42
	宮ヶ瀬	地点	2,403
	宮ヶ瀬桜まつり	行事	0
	宮ヶ瀬ふるさとまつり	行事	0
	清川やまびこマラソン	行事	0
	宮ヶ瀬クリスマスみんなのつどい	行事	120

【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】

※イベントについては、令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により休止しているものがある。令和5年度以降については、通常どおり開催する。

ア 宮ヶ瀬湖畔エリア

観光資源	区分	内容
県立宮ヶ瀬やまなみセンター (財団運営管理)	観光	水源地域の活性化拠点、各種イベント開催、休憩所
みやがせミーヤ館 (財団運営管理)	観光	総合案内、クラフト体験、自転車の駅、森のキッズルーム、自然観察
宮ヶ瀬湖カヌー場 (財団運営管理)	スポーツ	カヌー艇庫、管理棟があり、カヌー競技、Eボートによる自然観察などを実施
天体ドーム (財団運営管理)	観光	宮ヶ瀬の澄んだ空気の下で本格的な天体観測が可能
清川村宮ヶ瀬湖水の郷交流館 (株式会社コーエン)	歴史文化	宮ヶ瀬の歴史資料や宮ヶ瀬の人が使っていた古民具等の展示、紹介
親水池・カヌーロッジ (財団運営管理)	自然 スポーツ	カヌー艇庫、更衣室等の設備と、夏、秋にはカヌースクールを開催
野外音楽堂 (財団運営管理)	文化	ステージ、音響、控室、芝生スタンドの設備があり野外コンサートの開催が可能
ピクニック広場バーベキュー場 (財団が宮ヶ瀬水の郷観光協同組合に運営委託)	商業	子どもが遊べる小川の前にあるバーベキューエリアで食材や機材を有料提供
けやき広場 (財団運営管理)	観光 自然	2.5haの芝生広場で散策やイベントなどが可能
こどもひろば (財団運営管理)	観光 遊具	アスレチック広場（ターザンロープ、サスケジャンプ、あみだ越え）（無料）

様式 1

セグウェイ、インモーション (財団運営管理)	観光 遊具	H29 年度からセグウェイ、H30 年度からインモーション導入。定期的な乗車体験等を実施。
---------------------------	----------	---

観光資源	区分	内容
小中沢園地多目的広場 (財団運営管理)	観光 スポーツ	平成 28 年度にグラウンド・ゴルフ等が可能なニュースポーツゾーンとして整備
グラスライダー (財団運営管理)	観光 遊具	人口芝そり施設として、H30 年に再オープン。
及沢ビオトープ (財団運営管理)	自然	生態系に適した自然環境を確保し、自然観察会などを実施
もみの木 (クリスマスツリー) (財団運営管理)	自然 イベント	高さ約 30m の自生のもみの木で、クリスマスイルミネーションに利用
宮ヶ瀬水の郷大噴水「虹の妖精」 (清川村)	観光 イベント	親水池に設置された噴水装置。イベント時にライトアップされる
宮ヶ瀬水の郷大つり橋 (清川村)	観光 イベント	橋長 315m、歩行者専用のつり橋、クリスマス期間中はライトアップされる
じゃぶじゃぶ池 (財団運営管理)	観光 自然	ピクニック広場前の小川を整備した水辺の遊び空間
みはらしの丘 (財団運営管理)	自然	宮ヶ瀬虹の大橋を中心に広大な景観を楽しむ場所
展望の丘 (財団運営管理)	自然	宮ヶ瀬湖畔園地を見渡すことができる場所
宮ヶ瀬水の郷商店街	商業	地場食材使用のレストランからお土産ものまで幅広く楽しめる
宮ヶ瀬水の郷商店街プロムナード (清川村)	観光 遊具	イベントステージ、小川、子供用遊具などを設置、散策、休憩
ロードトレイン「ミーヤ号」 (財団運営管理)	観光	園内一周する 4 両連結型の観光乗物。エリア内各施設へアクセス
遊覧船「ミーヤ丸」 (財団運営管理)	観光	3 エリアを結ぶシャトル船で宮ヶ瀬湖の景観・自然環境を水面から遊覧
みやがせ花の日 (財団主催)	イベント	毎月第 3 土曜日に来訪された方に花苗をプレゼント
みやがせフェスタ(四季) (財団主催)	イベント	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、分散開催。令和 3 年度はご当地ゆるキャラと AR 写真が撮れるイベントとして実施。
宮ヶ瀬ふるさとまつり (実行委員会)	イベント	夏休みに湖畔園地を使用し、約 2,000 発の打ち上げ花火を実施
宮ヶ瀬クリスマスみんなのつどい (実行委員会)	イベント	高さ 30m のジャンボクリスマスツリーを中心にした約 60 万個のイルミネーション

様式 1

観光資源	区分	内容
自然観察、生き物観察 (財団主催、NPO活動団体による協力)	イベント	四季を通じて、貴重な自然が残る及沢ピオトープなどで自然観察会等を開催
各種体験教室等 (財団主催で地元活動団体による協力)	イベント	クラフト体験、森遊び、バレンタインのお菓子作り、Eボートなどの体験教室を開催
みやがせミーヤくとあいちゃん (財団)	イベント	宮ヶ瀬のマスコットキャラクターとして、各種イベントに出演

イ 鳥居原エリア

観光資源	区分	内容
鳥居原ふれあいの館 (相模原市)	商業 イベント	四季折々の産地直送野菜や物産を販売、しいたけ教室などのイベント開催
津久井馬術場 (神奈川県馬術協会運営管理)	スポーツ	馬術競技会や学生の馬術練習合宿等に使用されているスポーツ施設
岬の展望台 (財団運営管理)	自然 観光	宮ヶ瀬虹の大橋などが一望でき、宮ヶ瀬の四季折々の景観が楽しめる
湖畔庭園 (財団運営管理)	自然 観光	噴水や花壇、芝生広場があり、来訪者が鐘を鳴らせる公園
花時計 (財団運営管理)	自然 観光	直径 5.3m、長針 2m の花時計、ソーラーを利用し時刻を知らせる
ドウダんツツジ (財団運営管理)	自然 観光	約 2 万株のドウダんツツジを斜面に配置し、春は白い花、秋は紅葉を楽しむ
宮ヶ瀬虹の大橋	観光	鳥居原エリアと湖畔エリアをつなぐ橋長 300m の逆ローゼ橋で、抜群の眺望
各種体験教室 (財団主催ほか)	イベント	ヨモギ団子、うどん、しいたけ教室、薪割りなどの体験教室を開催
フリーマーケットほか (鳥居原ふれあいの館)	イベント	毎月第 3 日曜日にフリーマーケット、そのほか第 1 日曜日に青空クラフト市等開催

ウ ダムサイト・あいかわ公園エリア

観光資源	区分	内容
宮ヶ瀬ダム	観光	都心から約 50km 圏内に位置した首都圏最大級のダム 堤高 156m、堤頂長 375m
宮ヶ瀬ダム貯水池 宮ヶ瀬湖	自然 観光	湛水面積 4.6k m ² (東京ドーム約 100 個分) 総貯水容量約 2 億 m ³ (芦ノ湖の水量)
相模川水系広域ダム管理事務所	観光	1 階に展望ギャラリー、ダム概要パンフレット、パネル展示
副ダム (石小屋ダム)	観光	宮ヶ瀬ダムの副ダム 約 800m 下流 堤高 34.5m、堤頂長 87m

様式 1

観光資源	区分	内容
展望塔	観光	ダム堤体頂上に設置された展望台、空気が澄んでいると横浜ランドマークタワーが見える
ダム堤体内エレベーター	観光	ダム堤体内設置されたエレベーターで、ダム体験学習として自由に利用可能
インクライン (財団運営管理)	観光	ダム建設時の施設を活用したケーブルカー。最大斜度 35 度、ダムの堤体横を上下移動
宮ヶ瀬ダム水とエネルギー館 (財団運営管理)	観光 学習	ダムに関する体験型アミューズメント施設。レクチャー体験でダム学習可能
レイクサイドカフェ (財団が運営委託)	商業	水とエネルギー館内にあるレストラン、ダムカレーなどをメニューとして用意
大沢の滝	観光	新石小屋橋から見ることのできる落差 40m の滝
ダム内部見学会	イベント	森と湖に親しむ旬間（7 月下旬）期間内にダム内部見学会を開催
観光放流	イベント	全国でも珍しい定期的な観光放流の実施 4 月～11 月 毎週水、毎月第二日曜、金曜
ダムカード配布	イベント	宮ヶ瀬ダム・石小屋ダムカードをダム管理事務所と水とエネルギー館で配布
あいかわ公園パークセンター (財団運営管理)	観光 商業	公園内や宮ヶ瀬湖周辺の総合案内施設 売店、授乳室などを設置
工芸工房村 (財団運営管理)	観光 イベント	地元愛川町の伝統工芸（機織り、紙漉き、染色、陶芸、木竹工など）体験施設
ロードトレイン「愛ちゃん号」 (財団運営管理)	観光	パークセンターとダム下のシャトル便として 4 両連結型の観光乗物、定員 55 名
工芸工房村カフェ (財団が運営委託)	商業	工芸工房村に隣接する軽飲食場
愛川町郷土資料館 (愛川町)	歴史文化	愛川町の歴史・民俗・考古・自然科学に関する資料収集、保存、展示施設
ふれあい橋・エレベーター (財団運営管理)	観光	あいかわ公園の広場から工芸工房村・愛川町郷土資料館を結ぶ施設、園内展望
あいかわ公園 中央広場 (財団運営管理)	観光	あいかわ公園に入って最初の広場、噴水があり、子供の遊び場となっている
冒険広場 (財団運営管理)	観光	すり鉢状になった広場で、斜面で段ボール滑りなども可能
自然観察林（遊歩道） (財団運営管理)	自然 観光	樹木に覆われた遊歩道で、遊歩道の先には新宿副都心が見える南山につながっている
花の森 (財団運営管理)	自然 観光	小高い丘で木々が付ける花などの景観を楽しめる

様式 1

観光資源	区分	内容
風の丘 (財団運営管理)	自然 観光	公園の上部に広がる眺めの良い丘、巨大なダム堤体、横浜ランドマークターも見える
花の斜面 (財団運営管理)	自然 観光	40種類のツツジ(愛川町の町花)を植栽、園内全体では約4万4千本のツツジ
ふれあい広場 (財団運営管理)	自然 観光	ピクニックや休憩に利用、大規模イベント時にはイベント広場として利用
じゃぶじゃぶ池 (財団運営管理)	観光	パークセンターに隣接する池で、夏場は子供の水遊び場
子供広場・ふわふわドーム (財団運営管理)	観光 遊具	空気でふくらませた大きなトランポリン遊具(無料)、二つ山(大)、一つ山(小)
冒険の森 (財団運営管理)	観光 遊具	壁の迷路、巨大ツリー、スライダー、ターザンライド、林間アスレチック遊具(無料)
あいかわ公園花の日 (財団主催)	イベント	毎月第3日曜日に来訪された方に花苗をプレゼント
革工芸教室 (財団主催)	イベント	毎月第3土曜日にパークセンターで開催
楽しいお話し会 (財団主催)	イベント	毎月第1土曜日に愛川町の地域ボランティアによる絵本や紙芝居の読み聞かせを開催
新鮮朝市 (財団主催)	イベント 商業	毎月第2、第4日曜日に生産者グループによる地場野菜、果物、苗等の販売
和紙で遊ぼう (財団主催)	イベント	工芸工房村で毎月第1日曜日に伝統工芸体験
陶芸教室 (財団主催)	イベント	工芸工房村で毎月の定期開催と季節ごとの陶芸体験イベント開催
木竹工体験 (財団主催)	イベント	工芸工房村で毎月、園内の間伐材を利用した工作体験
染色体験 (財団主催)	イベント	工芸工房村で毎月、手ぬぐい染めなど伝統工芸体験
あいかわ公園つつじまつり (実行委員会)	イベント	40種、4万4千本を越えるツツジが満開の会場となり、ステージショー、地元生産品販売で賑わう
自然観察会、各種体験教室 (財団主催)	イベント	自然観察会やアウトドアヨガ、ハイキングなど体験イベントを開催

様式 1

エ 近隣の観光施設・資源等		
観光資源	区分	内容
道の駅清川 (清川村)	観光 商業	県内3番目の道の駅として平成27年に登録。農産物や地場産品などを販売。
清川村ふれあいセンター「別所の湯」 (清川村)	商業	丹沢の源流水を利用した入浴施設
清川やまびこマラソン (清川村)	イベント	11月上旬に宮ヶ瀬湖周辺で行うマラソン大会（ハーフ、5km、3km）
青龍祭 (清川村)	イベント	江戸時代から昭和初期にかけて、煤ヶ谷地区で行われていた「雨乞い」儀式を復活し、雄・雌2頭の龍を作成し、村内を練り歩いた後に昇天させるお祭り（8月中旬実施）
愛川太陽光発電所 (愛称：愛川ソーラーパーク) (愛川町)	観光	ダム近くにある最大出力1,896kW（約8,000枚）の神奈川県営初のメガソーラー
中津川マス釣り場 Fishing Field 中津川 (愛川町)	観光 商業	ダムの下流にある自然溪流タイプ及びポンドタイプの釣り場（漁協直営）
愛川繊維会館レインボープラザ (愛川町)	観光	手織り体験、藍染め・草木染め体験、紙漉き体験、組み紐体験
田代運動公園 (愛川町)	スポーツ	野球場、ソフトボール場、テニスコート、ゲートボール場、プール
塩川滝 (愛川町)	自然	滝幅4m、落差約30m。雨乞いの霊験あらたかな滝で、八菅修験の第5番の行所
服部牧場 (愛川町)	観光 商業	ダム近くの神奈川県下随一の広さと規模の観光牧場、散策、アイスクリーム、ソーセージ等販売
仏果山・高取山・経ヶ岳登山コース (愛川町・清川村)	観光 自然	宮ヶ瀬湖や丹沢山地を眺めながら季節を問わず山歩きが楽しめ、天気の良い日は都心や横浜の風景も見ることができる
株式会社オギノパン (相模原市緑区)	観光 商業	ダム近くにある工場併設（見学可）パン屋、神奈川フードバトル金賞のアゲパン等
早戸川国際マス釣り場 リヴァースポ ット早戸 (相模原市緑区)	観光 商業	宮ヶ瀬湖の流入河川である早戸川にある釣り場
県立津久井湖城山公園 (相模原市緑区)	観光	城山ダムの両岸の2つの公園と、戦国時代の「津久井城跡」を利用した公園。噴水やガーデンテラス、スロープ状园路などが整備

様式 1

観光資源	区分	内容
南山 (相模原市緑区)	観光	標高 544m、県 100 名山。40 分程度で展望台権現平、トイレ、東屋、ベンチ、湖周辺が一望
松茸山 (相模原市緑区)	観光	自然の森公園として整備された山。コナラ、モミ等の自然林、山頂まで1時間の手軽なハイキングコース
鳥屋の福寿草 (相模原市緑区)	観光 自然	鳥屋地区(宮の前)の私有地にある福寿草の群生地
鳥屋の獅子舞 (相模原市緑区)	イベント	県指定無形民俗文化財に指定された祭り で、毎年8月の第2土曜日に開催
飯山温泉郷・東丹沢七沢温泉郷 (厚木市)	観光	都心から約1時間の本格的な温泉。泉質は強アルカリ性が強く、美肌の湯として知られている
県立飯山白山森林公園 (厚木市)	観光	飯山観音の裏山約33haを整備した自然公園。春の桜を始め、四季の風景が楽しめる
県立七沢森林公園 (厚木市)	観光	横浜スタジアムの24倍以上もの面積で、64.6haの園内には野外ステージや森の民話館などの施設
飯山方面ハイキングコース (厚木市)	観光	白山順礼峠コース、猪久保コース、白山コース
七沢方面ハイキングコース (厚木市)	観光	鐘ヶ嶽コース、二の足林道コース、三峰山コース、見城コース、日向薬師コース
森林セラピー [®] セラピーロード (厚木市)	観光	厚木市の七沢周辺は全国62箇所ある森林セラピー基地の一つで、森林浴で健康になるための様々な取組を行っている。白山順礼峠、鐘ヶ嶽、二の足林道がセラピーロードとして認定
飯山観音(長谷寺) (厚木市)	観光	かながわ景勝50選の地にも選ばれている坂東三十三カ所霊場の第六札所。桜の名所でもあり市指定文化財の銅鐘と観音堂もある
自然環境保全センター (厚木市)	観光	室内展示や野外施設での自然との触れ合いを通して自然とのかかわり方や自然環境保全再生について学べる施設
大釜弁財天 (厚木市)	観光	大沢川上流にある弁財天。霊験あらたかなパワースポット。夏場は市内屈指の清涼スポット
亀石 (厚木市)	観光	鬱蒼とした森の中に鎮座する巨大な石(岩)で、自然の力を感じるパワースポット

様式 1

観光資源	区分	内容
飯山トレイルランニングコース (厚木市)	スポーツ	飯山白山森林公園周辺のハイキングコースを利用したトレイルランニングのコース
あつぎ飯山桜まつり (3月～4月) (厚木市)	イベント	桜の名所である飯山において、満開の桜の下、飯山白龍太鼓や白龍の舞、飯山温泉芸妓衆によるさくら輿等
飯山花の里 あつぎ飯山ポピーまつり (5月) (厚木市)	イベント	飯山花の里において、約5万本の満開のポピーの下、飯山白龍太鼓や白龍の舞などの郷土芸能や演芸会等
あつぎつつじの丘公園 つつじが元気に咲きました! (5月) (厚木市)	イベント	5万2千本のつつじが植えられた同公園は、市内屈指の花の名所であり、イベントでは、大道芸や小動物園、骨董市等
飯山あやめの里 あつぎ飯山あやめまつり (6月) (厚木市)	イベント	「かながわの花の名所100選」でもある飯山あやめの里の約5千株のハナショウブの下、撮影会や演芸会など
飯山花の里 あつぎ飯山秋の花まつり (11月) (厚木市)	イベント	飯山花の里において、約5千本の満開のぎる菊の下、飯山白龍太鼓などの郷土芸能や演芸会等
あつぎ七沢森のまつり (11月) (厚木市)	イベント	七沢森林公園であいの広場において、地元野菜直売や屋台村、千人シシ鍋、足湯、演奏会等
あつぎつつじの丘公園 もみじまつり (厚木市)	イベント	紅葉の下、郷土芸能や大道芸、パターゴルフ等

【宿泊施設：域内分布、施設数、施設規模等】

市町村名	エリア	施設数	備 考
相模原市	根小屋	1	
	青 山	1	
	鳥 屋	2	簡易宿所 (キャンプ場・山小屋等) 1
厚木市	飯 山	3	
	七 沢	9	
愛川町	角 田	1	
	田 代	1	
	中 津	1	
	半 原	3	簡易宿所 (キャンプ場・山小屋等) 1
	八菅山	2	
清川村	煤ヶ谷	7	簡易宿所 (キャンプ場・山小屋等) 5
	宮ヶ瀬	6	簡易宿所 (キャンプ場・山小屋等) 4
		33	

様式 1

【利便性：区域までの交通、域内交通】

ア 区域までの交通

(ア) 宮ヶ瀬湖畔園地へのアクセス

・車でのアクセス

中央道相模湖 I.C からの 場合	国道 20 号→国道 412 号「三ヶ木」交差点を厚木方面へ、 「関」交差点を宮ヶ瀬方面へ (約 40 分)
東名高速厚木 I.C からの 場合	国道 129 号 (国道 246 号) → 県道 60 号→県道 64 号 (清川 村方面へ) (約 45 分)
東名高速厚木 I.C からの 場合	国道 129 号 (国道 246 号) 「市立病院前」交差点左折→国 道 412 号「半原小学校入口」交差点を左折→県道 514 号 (清川方面へ) (約 50 分)
圏央道相模原 I.C からの 場合	県道 510 号→県道 513 号→国道 412 号経由 (約 20 分)

・電車+バスでのアクセス

小田急本厚木駅から 宮ヶ瀬湖畔園地	神奈川中央交通バス「宮ヶ瀬」行き終点下車 (約 60 分)
----------------------	-------------------------------

(イ) 鳥居原園地へのアクセス

・車でのアクセス

中央道相模湖 I.C からの 場合	国道 20 号→国道 412 号「三ヶ木」交差点を厚木方面へ、 「関」交差点を宮ヶ瀬方面へ (約 38 分)
東名高速厚木 I.C からの 場合	国道 129 号 (国道 246 号) → 県道 60 号→県道 64 号 (清川 村方面・宮ヶ瀬経由) (約 47 分)
東名高速厚木 I.C からの 場合	国道 129 号 (国道 246 号) 「市立病院前」交差点左折→国 道 412 号「半原小学校入口」交差点を左折→県道 514 号 (清川方面・宮ヶ瀬経由) (約 52 分)
圏央道相模原 I.C からの 場合	県道 510 号→県道 513 号→国道 412 号経由 (約 18 分)

・電車+バスでのアクセス

JR・京王橋本駅から 鳥居原園地	神奈川中央交通バス「鳥居原ふれあいの館」行き終点下車 (約 50 分)
---------------------	--

(ウ) あいかわ公園へのアクセス

・車でのアクセス

中央道相模湖 I.C からの 場合	国道 20 号→国道 412 号「三ヶ木」交差点を厚木方面へ、 「清正光入口バス停」交差点右折→あいかわ公園 (約 50 分)
東名高速厚木 I.C からの 場合	国道 129 号 (国道 246 号) → 県道 60 号→県道 64 号 (清川 村方面へ) → 「半原小学校入口」交差点左折→国道 412 号 「宮ヶ瀬ダム入口」交差点左折→あいかわ公園 (約 50 分)
東名高速厚木 I.C からの 場合	国道 129 号 (国道 246 号) 「市立病院前」交差点左折→国 道 412 号「宮ヶ瀬ダム入口」交差点左折→あいかわ公園 (約 40 分)
圏央道相模原 I.C からの 場合	県道 510 号左折→国道 412 号「清正光入口バス停」交差点 右折→あいかわ公園 (約 30 分)

様式 1

・電車+バスでのアクセス

小田急本厚木駅から あいかわ公園	神奈川中央交通バス「センター経由半原」行き「愛川大橋」下車（約 60 分）→バス停から徒歩約 20 分
JR・京王橋本駅から あいかわ公園	神奈川中央交通バス「三ヶ木」終点下車（約 35 分）→関経由半原行き「石小屋入口」下車（約 15 分）→バス停から徒歩 15 分
JR 横浜線 淵野辺駅から あいかわ公園	JR 横浜線 淵野辺駅南口から上溝経由田名バスターミナル行きバス「田名バスターミナル」（終点）乗り換え、田名バスターミナルから箕輪辻経由半原行きバス「半原」（終点）下車、徒歩約 25 分

イ 域内交通

遊覧船	宮ヶ瀬湖畔・ダムサイト・鳥居原エリア内 3 エリアを結ぶ移動手段及び湖水面からの自然観察や景観を楽しむ 運航日：土・日・祝日・観光放流日、ゴールデンウィーク、夏休み
-----	---

【外国人観光客への対応】

- ・外国人観光客用パンフレット、3 拠点マップの作成・配布

財団所管分：3 拠点マップ英語版の作成・ホームページ公開、工芸工房村体験工房関係英語版チラシ及び冊子作成・配布

- ・無料 Wi-Fi 整備

財団所管施設：宮ヶ瀬やまなみセンター、みやがせミーヤ館、宮ヶ瀬湖カヌー場、あいかわ公園、工芸工房村に無料 Wi-Fi 整備

水の郷商店街プロムナードに無料 Wi-Fi 整備

飯山温泉郷及び東丹沢七沢温泉郷の温泉旅館に無料 Wi-Fi 整備

- ・外国人向け案内サイン設備、ガイド養成 等

財団所管分：多言語緊急事態対応アプリ入りタブレットを各案内施設に配布 8 台、みやがせミーヤ館周辺案内ボード英語版作成・掲示

様式 1

3. 各種データ等の継続的な収集・分析

(財団主体のもの)

収集するデータ	収集の目的	収集方法
宮ヶ瀬湖周辺 3 拠点における施設利用者数の推移	3 拠点の施設利用者数を把握し、経年変化を把握するため、グラフ化し、前年度対比等、事業効果測定等を行い理事会、評議員会等に業務執行状況として定期報告	財団が各施設等から統計データを入手
宮ヶ瀬湖周辺イベント開催実績表	宮ヶ瀬湖周辺イベント数、参加者数の経年変化を把握し、事業効果測定等を行い理事会、評議員会等に業務執行状況として定期報告	財団が各施設や開催団体から統計データを入手
乗物、駐車場、財団管理施設の利用状況	財団経営戦略会議において、財団経営に大きな影響のある乗物、駐車場、施設関係の利用状況や収入状況を数値、グラフ化し、前年度、5 カ年平均、目標値との対比を行い、増減要因の分析	財団が日報、月報データに基づき作成
来訪者動向調査	圏央道の相模原インターチェンジの共用開始などを踏まえ、新たな広報戦略や事業展開に活用するため、来訪者動向調査を実施	季節ごとに 3 拠点施設において調査
イベントアンケート調査	財団主催のイベント開催時に参加者にアンケートを行い事業に対する評価、効果測定を実施	イベント参加者からアンケート
指定管理業務に伴うモニタリング調査	県指定管理施設について月例報告及び 4 半期ごとに利用者満足度調査の実施	財団利用料金施設等の統計及び施設利用者からのアンケート
WEBサイトのアクセス状況	地域に対する顧客の関心度や施策の効果等を把握するため。	ホームページのアクセスログ解析ツールにより分析

様式 1

(関係機関の協力を得るもの)

収集するデータ	収集の目的	収集方法
宮ヶ瀬湖利用実態調査	国土交通省が全国ダム貯水池の実態を把握するために実施している調査、利用目的やブロック区分毎の利用者数などの分析	国土交通省相模川広域ダム管理事務所の協力を得て実態調査結果を入手
神奈川県入込観光客調査	神奈川県内の各観光地を訪れた観光客の延数の経年変化を調査 観光客の動向を「日帰り」と「宿泊」で調査し、県内市町村別、観光地・観光施設別に集計	県ホームページ等から入手

4. 戦略

(1) 地域における観光を取り巻く背景

宮ヶ瀬湖周辺地域は“宮ヶ瀬ダム”、“宮ヶ瀬湖”を中心とした水源地域として、自然環境の保全を最優先としつつ、周辺地域の振興や活性化を図ってきた。

都心から 50 km の利便性、ダム湖周辺の施設の充実、魅力あるイベントの開催などにより 150 万人もの来訪者があったが、近年は減少傾向にある。

新たなインフラ整備による観光資源の活用や既存の観光施設を最大限に活用した観光地域づくりを官民越えた多様な関係者と連携し、DMO 法人が中心となり、来訪者をはじめとする交流人口の増加に繋げてゆく。

(2) 地域の強みと弱み

	好影響	悪影響
内部環境	<p>強み (Strengths)</p> <ul style="list-style-type: none"> 日帰り圏内で首都圏最大級のダム湖として年間 100 万人以上の来訪者がある 宮ヶ瀬湖周辺の 3 拠点を中心に施設整備が行われ、民間事業者も含めた豊富な観光資源が存在、年間 500 以上のイベント実施 国、県、関係市町村、地元関係者等と連携、協力に基づき設立され、地域活性化や水源環境理解促進の豊富な経験と実績をもつ宮ヶ瀬ダム周辺振興財団が存在する 地域観光情報等をワンストップで提供するみやがせミーヤ館や、県内 3 番目の道の駅清川がある 	<p>弱み (Weaknesses)</p> <ul style="list-style-type: none"> 団体ツアー客を定期的に受け入れる食事の提供場所などが少ない 日帰り観光地として発展をしてきており、宿泊施設が脆弱 宮ヶ瀬湖畔エリアは、水の郷商店街施設の老朽化、子供の遊具施設が少ない 鳥居原エリアは、駐車スペースが少なく、湖への段差も大きく、親水性に欠ける あいかわ公園・ダムサイトエリアは繁忙期の周辺交通対策
外部環境	<p>機会 (Opportunity)</p> <ul style="list-style-type: none"> 圏央道の整備進捗、中央リニア新幹線の関東車両基地等の整備計画 東京オリンピック、パラリンピック開催後のスポーツ熱の高まり 広域圏や外国からの観光客の増加 体験学習・健康増進型需要の高まり カヌー、ロードバイク、山岳トレイルなど特定のアウトドアニーズ（需要、客層）の増加 	<p>脅威 (Threat)</p> <ul style="list-style-type: none"> 圏央道の整備進捗による広域圏間競争の激化 地域内交通インフラが脆弱 広域圏、国際面での地域の情報発信力が脆弱 地域の高齢化、人口減少 自治体の財政難 人件費及び物価上昇等による影響

(3) ターゲット

・従前からのリピーター客層を、まずは第1ターゲット

来訪者動向（モニタリング）調査の結果を踏まえ、確実にリピーターとして来訪していただける客層を大切に、基本ベースをしっかりと維持する。



・宮ヶ瀬湖周辺地域を取り巻く環境の変化（外部環境の好影響）を捉え、時間の流れに沿った、新たな顧客層を開拓する。（第2、第3のターゲット）

2015-16（H27-28）圏央道の整備による交通アクセスの向上

2021年（R3）東京オリンピック、パラリンピック開催に向けたスポーツ熱の高まり

2027年（R9）中央リニア新幹線の関東車両基地の整備計画等

○第1ターゲット層

首都圏近郊の家族連れ客

【選定の理由】

首都圏から日帰り圏内で、充実した公園施設等を有する宮ヶ瀬湖周辺地域には、首都圏近郊の家族連れ客で、自家用車利用のリピーター客が圧倒的に多く、モニタリング調査結果にも現れている。この客層を大切に、施策を展開し、集客力の基本ベースをしっかりと維持する。

【取組方針】

来訪目的であるイベントや散策、休憩や自然景観といった宮ヶ瀬湖周辺地域の魅力を一層充実させるため、外部環境の変化に伴う機会、脅威、地域の内部的な強み、弱みを勘案し取組方針とする。圏央道の整備が進み、各高速道路網がつながるなど交通アクセスの向上を踏まえ、総合案内等による広域圏へ対応力強化、3拠点の特性を活かしたイベントや体験学習の実施、子供から高齢者までが楽しめる環境づくりや地域ブランドづくり、3拠点間の回遊、湖上交通の魅力アップなどを図る。

① 総合案内・ワンストップ機能の強化

市場分析・マーケティング調査に基づく広域広報戦略の構築

グループウェアによる3拠点の情報共有基盤の整備

みやがせミーヤ館のワンストップ機能の強化

② 地域活性化や水源環境理解促進に向けた魅力あるイベントの開催

みやがせフェスタ、自然観察会、伝統工芸体験

宮ヶ瀬クリスマス、あいかわ公園つつじまつり等

③ 自然環境や地場産業と結びつけた体験学習の場づくり

工芸工房村、愛川繊維会館レインボープラザ等の活用

やまなみセンター、みやがせミーヤ館、町村郷土資料館

自然を活かした体験型メニューの開発

④ 地域観光ブランド、稼ぐ力の確立

宮ヶ瀬オリジナルグッズの充実

稼ぐ力の強化と雇用の場の創出

宮ヶ瀬ガイドの育成・活用（地域に密着し地域を見つめ直す着地型観光の充実）

広報戦略として宮ヶ瀬キャラクター（ミーヤくん、あいちゃん）の活用

⑤ 3拠点の周遊性の向上

湖の特性を活かした周辺の地域間交通の強化（湖上交通である遊覧船の活用）

一度駐車した場所から地域内交通で移動し、楽しみ、渋滞等を回避

様式 1

<参考>

・モニタリング調査結果（R4.3：宮ヶ瀬ダム周辺振興財団調査）

来訪者の構成 家族連れ 88% 友人 6% 一人 3%
来訪者居住地 宮ヶ瀬 3 市町村（愛川町、清川村、相模原市） 14%
その他神奈川県居住者 66%
関東近郊 20%
来訪目的 遊び 59%、散歩 20%、自然観察 5%、スポーツ 3%、犬の散歩 4%
その他 9%
来訪頻度 年に数回 71%、月に数回 11%、
初めて 15%、週に数回 1%
交通手段 自家用車 93%、電車・バス 4%、自転車 1% バイク 1%

・モニタリング調査結果（R3.3：宮ヶ瀬ダム周辺振興財団調査）

来訪者の構成 家族連れ 88% 友人 6% 一人 6%
来訪者居住地 宮ヶ瀬 3 市町村（愛川町、清川村、相模原市） 18%
その他神奈川県居住者 46%
関東近郊 2%
来訪目的 遊び 47%、散歩 27%、自然観察 5%、スポーツ 3%
その他 18%
来訪頻度 年に数回 75%、月に数回 7%、
初めて 16%、週に数回 1%
交通手段 自家用車 96%、電車・バス 3%、自転車 0% バイク 0%

・平成 26 年度 河川水辺の国勢調査結果（ダム湖版）H28.2

全国ダム 年間利用者数第一位 首都圏から日帰り圏内、充実した公園施設
散策 825 千人、イベント利用 345 千人、スポーツ 50 千人、ボート 14 千人

・日本経済新聞社「NIKKEI プラス 1」「夏に行きたい観光ダム、ベスト 10」H28.6.12

1 位 宮ヶ瀬ダム（神奈川県） 1070 ポイント
2 位 黒部ダム（富山県） 930 ポイント
3 位 日吉ダム（京都府） 780 ポイント



○第2ターゲット層

スポーツ・レクリエーション愛好者、体力づくり・健康志向派

【選定の理由】

宮ヶ瀬湖畔園地内にある親水池や宮ヶ瀬湖でのカヌー・ボート利用客の増加、湖周辺におけるマラソン競技や山岳トレイルレースの開催など、スポーツ需要の高まりがある。

また、県の重要施策である「未病への取組み」や「子どもの体力・健康づくり」など子どもから高齢者までのあらゆる世代が、自然環境の中で、楽しみながらレクリエーションを行い健康づくりのできる環境づくりが求められている。

【取組方針】

2021年東京オリンピック・パラリンピック開催後のスポーツ熱の高まり、宮ヶ瀬湖周辺地域におけるカヌー、ボート、ロードバイク、山岳トレイルなど特定のアウトドアニーズ（需要、客層）の増加に応じ、首都圏最大級のダム湖の自然環境を活かしたレクリエーションによる健康づくりやスポーツ振興による地域活性化を図る。

① カヌーの「宮ヶ瀬湖」事業の充実

カヌースクール、Eボート体験ツアー、レンタルカヌー、SUP

② 楽しみながら健康増進ができる環境づくり

多目的広場（小中沢園地）でのグラウンド・ゴルフ等、自転車の駅

レクリエーション・アスレチック施設整備（グラスライダーの再開等）

冒険の森アスレチック、アウトドアヨガ、ツリークライミング体験（あいかわ公園）

③ 森と湖の中での本格的なスポーツ

令和4年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

<参考>

清川やまびこマラソン大会(清川村)

宮ヶ瀬湖マラソン大会(相模原市)

あいかわ公園北駐車場スケボー教室(愛川町)

様式 1

○第3ターゲット層

今後、市場分析・マーケティング調査等の結果を踏まえたターゲットを検討
(インバウンド：訪日外国人旅行、食・グルメ：特産品開発等)

【選定の理由】

豊かな自然に囲まれた宮ヶ瀬湖周辺は、土木技術の粋を結集した首都圏最大級のダム、県内初のメガソーラー施設などがあるが、さらに、日本が誇る最先端の科学技術であるリニア中央新幹線の関東車両基地（相模原市緑区）が近隣に整備されることから、地域に劇的な変化がもたらされる可能性がある。

インバウンド（訪日外国人旅行）や団体バスツアー客等などについては、こうした宮ヶ瀬湖周辺地域の将来像を見据えた対応を検討していく。

愛川町では、半原地域の横須賀水道半原水源地跡地における観光拠点づくりが進んでおり、DMO域内の新たな拠点となり得る動きがある。

清川村では、地場製品のブランド力の強化のため、大学と連携して特産品開発が取り組まれている。

当財団でも、地域内資源を活用した「宮ヶ瀬ダム貯蔵酒」や「宮ヶ瀬バレンタイン」イベントを実施し、地元商店街と連携したバレンタイン限定メニューの提供や清川村の指定管理者なども巻き込んで地域と密接に連携したイベントを行った。

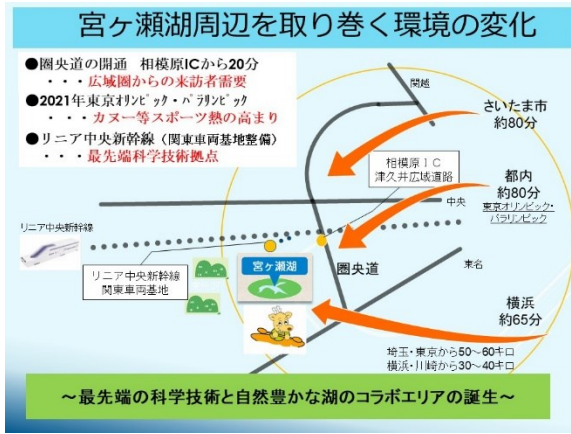
【取組方針】

関係機関の情報収集を行い、動向に応じて対応を図る。

情報発信の中に、地域のグルメ・特産品も含めて、定着化や認知度の向上を図る。

- ・リニア中央新幹線の関東車両基地に隣接する相模原市鳥屋地域との連携強化の検討
- ・半原地域における観光・産業連携拠点づくり構想
- ・清川村特産品開発の推進
- ・宮ヶ瀬グルメの開発
- ・外国人観光客受入のための環境整備

様式 1



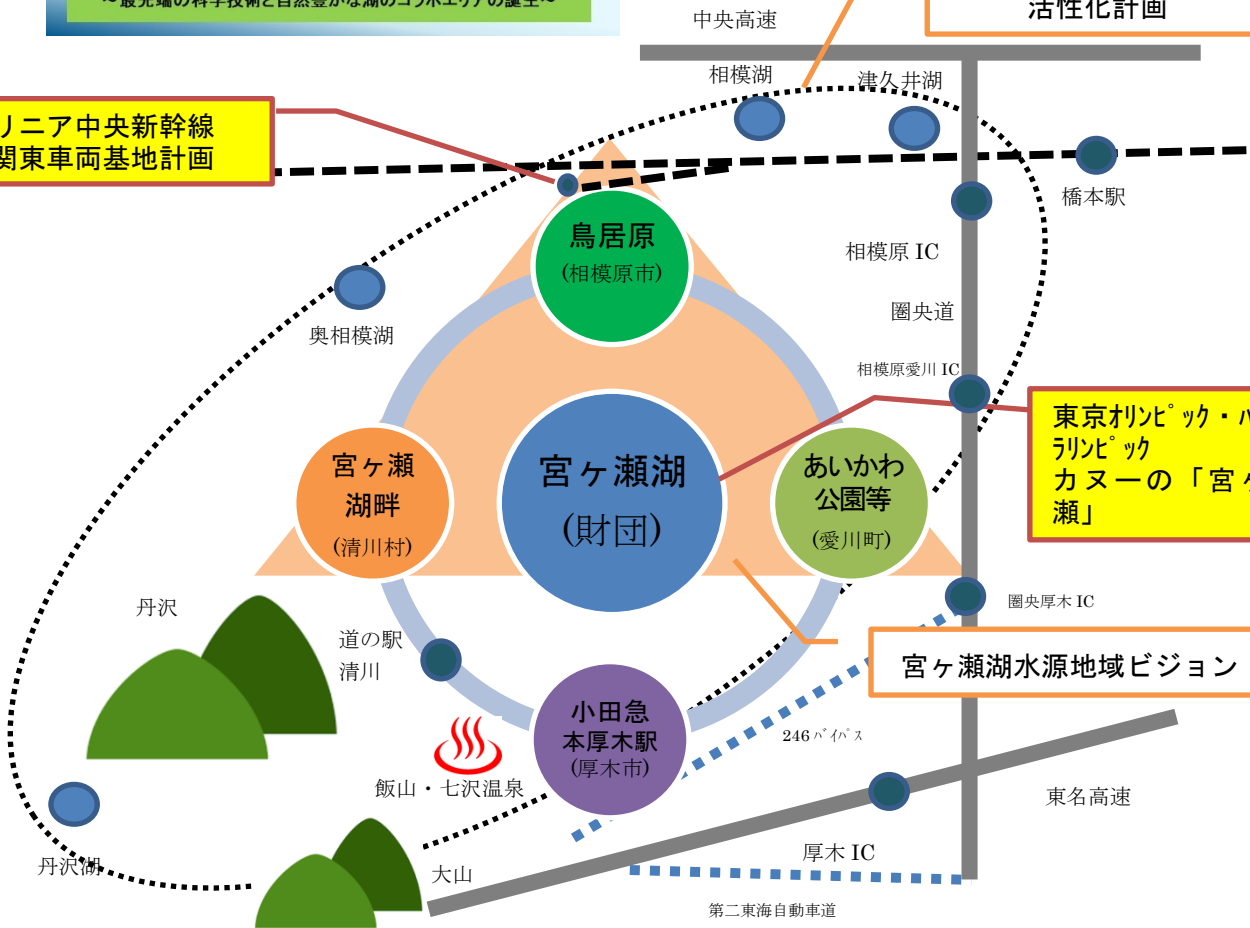
宮ヶ瀬湖周辺地域の将来ビジョン・計画

かながわの水源地域活性化計画

リニア中央新幹線 関東車両基地計画

東京オリンピック・パラリンピック カヌーの「宮ヶ瀬」

宮ヶ瀬湖水源地域ビジョン



様式 1

(4) 観光地域づくりのコンセプト

①コンセプト	『都心から一番近いオアシス 水源地宮ヶ瀬』
②コンセプトの考え方	<ul style="list-style-type: none">・水と緑に囲まれた首都圏最大級の湖である宮ヶ瀬湖は、都心から約 50km に位置し、首都圏から日帰り圏内で、1 日を満喫できる施設、乗物が充実しており、四季折々に年間 500 を越えるイベントを開催し 150 万人もの来訪者がある「日本一の人を惹きつけているダム湖」であること。・県内最後の人造湖として、神奈川県下 15 市 5 町に水道水を供給するなど、貴重な水源地となっていること。・宮ヶ瀬の特徴である豊かな自然や良質な水の保全を図りながら、自然環境を生かした都市部との交流により、地域活性化の推進を目指す方向性が示せること。・将来ビジョンも、最先端の科学技術と自然豊かな湖のコラボエリアとして、人々が憩い、集い、人を惹きつける新たな観光の核となることを目指していること。・従前から、財団ホームページや各種パンフレットに使用しているキャッチフレーズであり、一定の周知が図られていること。

様式 1

○参考：国、県等の計画における基本理念など

項目	基本理念など
宮ヶ瀬ダム貯水池周辺地域基本整備計画 (H4. 4)	人と自然、都市と地域の交流・共存をめざす、自然公園的機能をもった都市近郊リゾート地の形成
宮ヶ瀬湖憲章(H10. 4)	<ul style="list-style-type: none"> 1 清らかな宮ヶ瀬湖の水を、みんなで大切にしよう。 1 美しい宮ヶ瀬湖周辺を、みんなで守ろう。 1 宮ヶ瀬湖周辺の自然を、みんなで育て利用しよう。 1 宮ヶ瀬湖の意義・歴史を忘れず、みんなで後世に伝えよう。
宮ヶ瀬湖水源地域ビジョン (H31. 4)	地域・都市住民一体となった自発的なとりくみのもと、大規模コンクリートダム、湖畔の多彩な施設群、豊かな宮ヶ瀬湖周辺の自然などの地域の自然を保全・活用して自然と融合するレクリエーション地域としてともに自然に抱かれた生活・交流の場として宮ヶ瀬湖周辺の活性化を図ります。
かながわの水源地域活性化計画 (R 3. 3)	<p>～やまなみ五湖の豊かな地域づくりに向けて～</p> <p>○宮ヶ瀬湖周辺地域での取組みの基本方向</p> <p>公益財団法人宮ヶ瀬ダム周辺振興財団を中心とする観光地域づくり法人(DMO)とのネットワークを基盤に、市町村、県、民間団体、企業等がそれぞれの事業を連携させながら、観光において必要不可欠な要素である食と豊かな自然に囲まれた公共施設(インフラストラクチャー)を組み合わせて周遊型観光(インフラツーリズム)を実施します。</p> <p>地場産品を活用した魅力ある特産品の開発や既存の特産品の地域展開を促すとともに、観光地としてブランド力が高まっている宮ヶ瀬ダムを中心に、宮ヶ瀬やまなみセンターや鳥居原ふれあいの館、県立あいかわ公園、道の駅清川等の周辺施設の「魅力」を生かした「周遊ルートを形成」し、エリア全体の活性化を図ります。</p> <p>また、アクセスの良さを生かしたマイクロツーリズムやワーケーションの推進など、交流につながる新たな需要の開拓にも取り組んでいきます。</p>

5. 関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
<p>戦略の多様な関係者との共有</p>	<p>(財団が主体になるもの)</p> <p>理事会・評議員会（定期開催 毎年2回） 6ページ参照 宮ヶ瀬湖周辺の地方自治体の首長や議長、関係団体の代表から構成される評議員会、理事会等において、事業計画や事業報告を実施。</p> <p>宮ヶ瀬湖周辺地域活性化推進懇談会（毎年1回） (新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止) 宮ヶ瀬湖周辺の地方自治体の首長らを中心とした情報交換会</p> <p>宮ヶ瀬湖周辺DMOネットワーク会議（毎年3回程度） (新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面開催) 宮ヶ瀬湖周辺DMOネットワーク会議ワーキング部会 （内容に応じ開催） 周辺の自治体や活動団体を集め、講演や情報交換会を開催内容に応じてワーキング部会を別途開催。</p> <p>宮ヶ瀬湖周辺活動団体交流会（毎年1回） (新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止) 周辺の活動団体を集めて、活動報告や情報交換を行う。</p> <p>(関係行政機関が主催し、財団が構成員となるもの)</p> <p>宮ヶ瀬湖水源地域ビジョン推進協議会 (主催：国土交通省関東地方整備局相模川水系広域ダム管理事務所) 宮ヶ瀬湖水源地域ビジョンを推進するため、重点施策の事業実施計画・進行管理台帳の承認、実現化の方策・重点施策の見直し等を目的として設置。 協議会委員 理事長、推進会議委員 常務</p> <p>水源地域交流の里づくり推進協議会 (事務局：神奈川県政策局政策部土地水資源対策課) かながわグランドデザイン及びかながわ水源地域活性化計画に基づく水源地域における交流の里づくり事業を行政と民間が一体となって円滑に推進するために設置。 協議会会長 副知事 地区推進協議会 県央地区推進協議会（宮ヶ瀬湖エリア） かながわ水源地域の案内人会議</p>

様式 1

項目	概要
	<p>県央地域観光推進協議会 (主催：県央地域県政総合センター企画調整部商業観光課) 県央地域における広域的な観光を振興するため、観光情報の収集・発信、観光エリアの魅力向上、観光推進体制の整備等の取組を実施。</p> <p>構成員 県、市町村の観光担当課、関係機関 会長 県央地域県政総合センター企画調整部長 監事 常務（事務局長）</p>
<p>観光客に提供するサービスについて、維持・向上・評価する仕組みや体制の構築</p>	<p>(財団が主体になるもの)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 来訪者サービス向上として、総合案内機能の充実を図り、来訪者のリピーター需要を喚起するもてなしの心をもった人材育成を実施。 ・ 宮ヶ瀬独自のグルメや伝統工芸品の開発を進め地域の魅力発信 ・ やまなみグッズ等地域の地場産品などを紹介、水の郷商店街、鳥居原ふれあいの館、あいかわ公園、道の駅清川などと連携。 ・ 未病・健康・体力づくりプログラムの実施。 <p>(関係行政機関や財団も含めた団体等が主体となるもの)</p> <p>「宮ヶ瀬湖水源地域ビジョンの重点施策」から抜粋</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 楽しい時間を提供するとりくみ(来訪者の視点からの「重点施策」) <p>いろいろな活動を組み合わせた楽しみ方・過ごし方の提供 (湖周辺の観光資源めぐり、ハイキングコース、環境学習、案内人、観光放流等)</p> <p>既存施設等の有効活用 宮ヶ瀬湖周辺地域での多様なイベントの開催 (宮ヶ瀬クリスマスみんなのつどい等)</p> <p>ゆっくり遊んでもらうための体系的な交通手段の充実 だれもが快適に使える施設の充実・改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の連携を強化するとりくみ(水源地住民・都市住民の視点からの「重点施策」) <p>宮ヶ瀬湖憲章の普及と推進 地域の特性に根ざした地域間の連携 多様な情報手段による情報発信 総合案内の充実 行政、民間、地域相互での連携 地域資源の活用 地場産品等の普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水源地域の活性化 <p>「かながわ水源地域活性化計画」から抜粋</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ポータルサイト等による情報発信促進事業 ・ 水源地域の特産品支援事業 ・ かながわ水源地域の案内人事業

様式 1

項目	概要
	<ul style="list-style-type: none"> ・水源地域と都市地域の連携・協働支援事業 ・水源地域イベントPR事業 ・水源環境の理解促進 <p>「かながわ水源地域活性化計画」から抜粋</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験交流支援事業 ・水源地域理解促進事業 ・小中学校等交流事業 ・水源地域を学ぶ体験学習事業
<p>観光客に対する地域一体となった戦略に基づく一元的な情報発信・プロモーション</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と相互連携を図りながら宮ヶ瀬湖周辺の観光情報発信等をワンストップで行う窓口として、平成 28 年 5 月にみやがせミーヤ館がオープン、総合案内の充実・強化を図る。 ・周辺自治体等と連携を図りながら、ホームページやツイッター、キャラクターなどを利用した効果的なプロモーションを実施。

様式 1

6. K P I (実績・目標)

(1) 必須K P I

指標項目		単位	2020 (R2) 年度	2021 (R3) 年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度
●旅行消費額	目標	円	1,080,000	1,090,000	1,090,000	1,090,000	1,090,000	1,090,000
			(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
	実績		476,543	617,900	626,404	-		
			(-)	(-)	(-)	(-)		
●延べ宿泊者数	目標	千人	85	85	85	85	85	85
			(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
	実績		20	31	54	-	-	-
			(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
●来訪者満足度	目標	%	82	82	82	82	82	82
			(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
	実績		94.2	96.6	94.1	-	-	-
			(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
●リピーター率	目標	%	87	87	87	87	87	87
			(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
	実績		94.1	84.2	84.9	-	-	
			(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値だが、統計根拠となる数値がないため斜線としている。

旅行消費額、延べ宿泊者数は神奈川県入込観光客調査結果等を参考としている。

※年次及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

前回登録申請時の目標値、毎年度の神奈川県入込観光客調査報告書及び当財団の平成29年度から令和2年8月までの実績を分析し、目標値を定めた。

その後、関係団体等への意見照会を経て、目標値の合意を得た。

なお、宮ヶ瀬湖周辺地域は、愛川町と清川村の全域、相模原市と厚木市の各々一部エリアを対象としており、4市町村のエリアにまたがる。

このため、個別市町村の統計データのみでは状況把握が困難であることから、財団では従前より独自に統計データ収集や来訪者数の目標値設定を行っている。

【設定にあたっての考え方】

令和元年度からの新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、来訪者数や旅行消費動向等の見通しが非常に不透明となったことから、前回登録申請時の目標値、継続的な数値把握が可能な神奈川県入込観光客調査結果及び平成 29 年度から令和 2 年 8 月までの宮ヶ瀬湖 3 拠点来訪者数等の動向を基に目標値設定を行った。

●旅行消費額(総額)

神奈川県入込観光客調査結果及び宮ヶ瀬湖 3 拠点施設利用者等の動向を確認し目標値を設定

- ・継続的な数値把握が可能な神奈川県入込観光客調査結果及び宮ヶ瀬湖 3 拠点における当財団の収益事業の収入状況を踏まえ、前回登録申請時の考え方を踏襲し、**愛川町・清川村は町村の旅行消費額、相模原エリアは観光拠点である鳥居原ふれあいの館の売上額を基本に目標設定することとした。**
- ・前回登録申請時の目標と平成 29 年度から令和元年度までの実績に大きな乖離がない一方で、令和 2 年度については、新型コロナウイルス感染症対策として施設の全面休止等を行ったことから、大幅な減収となった。
- ・令和 2 年 6 月から制限付きながら施設を再開し、6 月から 8 月までの収入額が前年同期比で 94.6%となったことから、令和元年度実績 1,151,980 千円の 94.6%を令和 2 年度の目標額とした。
- ・令和 3 年度以降は、新型コロナウイルス感染症の収束が見えないことから、令和 2 年度の目標額から横ばいと設定した。

●延べ宿泊者数

神奈川県入込観光客調査結果及び宮ヶ瀬湖 3 拠点来訪者数等の動向を確認し目標値を設定

- ・継続的な数値把握が可能な神奈川県入込観光客調査結果及び宮ヶ瀬湖 3 拠点における当財団の来訪者数の状況を踏まえ、前回登録申請時の考え方を踏襲し、**公開・把握可能な愛川町・清川村における延べ宿泊者数を基本に目標設定することとした。**
- ・目標値については、新型コロナウイルス感染症の収束が見えず、宿泊観光客の見通しが非常に不透明であることから、前回登録申請時の令和 2 年度の目標値を据え置き、令和 3 年度以降についても横ばいと設定した。

●来訪者満足度

財団の実施する来訪者モニタリング調査結果をもとに目標値を設定

- ・財団でのモニタリング調査結果に基づき設定。既に 9 割を超える高レベルに達している一方で、新型コロナウイルス感染症の動向次第でサービスに制限が求められる可能性もあることから、前回登録申請時に設定した現状の目標値を維持することとした。

●リピーター率

財団の実施する来訪者モニタリング調査結果をもとに目標値を設定

- ・財団でのモニタリング調査結果に基づき設定。既に 8 割を超える高レベルに達している一方で、前回登録申請時の目標には届いていないことから、前回登録申請時に設定した現状の目標値を維持することとした。

様式 1

(2) その他の目標

指標項目			2020 (R2) 年度	2021 (R2) 年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度
●宮ヶ瀬湖周辺 3拠点施設利 用者数	目 標	万 人	114	114	114	114	114	114
			(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
	実 績		77	90	134	—	—	—
			(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
●来訪者の広域 化率 神奈川県以外 来訪者率	目 標	%	30	26	26	26	26	26
			(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
	実 績		26.2	26.2	25.3	—	—	—
			(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値だが、統計根拠となる数値がないため斜線としている。

※年次及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

平成 28 年度に関係行政機関から構成される宮ヶ瀬湖周辺地域活性化推進課長会議において、統計データや行政上の目標値を参考に相関関係等を分析し、目標値を定めた。

その後、関係団体への個別訪問・通知、団体交流会、理事会、評議員会を経て、目標値の合意を得た。

なお、宮ヶ瀬湖周辺地域は、愛川町と清川村の全域、相模原市と厚木市の各々一部エリアを対象としており、4市町村のエリアにまたがる。

このため、個別市町村の統計データのみでは状況把握が困難であることから、財団では従前より独自に統計データ収集や来訪者数の目標値設定を行っている。

【設定にあたっての考え方】

●宮ヶ瀬湖周辺 3 拠点施設利用者数

財団及び関連施設の収集している施設利用者数に基づき、今後の展開される施策の波及効果等を勘案し目標値を設定

- ・財団における宮ヶ瀬湖 3 拠点来訪者数（施設利用者数）の目標値は、中長期経営計画を策定するにあたり、周辺地域における新たな施設整備や施策、圏央道の開通に伴う波及効果、過去における数値変化のトレンドなどを考慮し、令和 2 年度の目標値を 114 万人と定めたものである。

●来訪者の広域化率

財団の実施する来訪者モニタリング調査結果をもとに目標値を設定

- ・圏央道の開通に伴い、神奈川県以外の広域圏からの来訪者需要増を見込み、財団が実施している統計データのトレンドなどに基づき、来訪者の約 3 割を目標値とすることで設定した。

様式 1

7. 活動に係る運営費の額及び調達方法の通し

(1) 収入

年 度	総収入 (千円)	内 訳
R2年度	457,243 千円	公益目的事業 370,708 千円
		基本財産・特定資産運用益 3,086 千円
		参加者負担金等収益 16,233 千円
		助成金収益 433 千円
		自主事業収益 (工芸工房村等) 3,739 千円
		受託事業収益 (県、国) 345,071 千円
		補助金等収益 995 千円
		雑収益 1,151 千円
		収益事業等 72,841 千円
		特定資産運用 746 千円
		自主事業収益 (湖畔有料等) 11,147 千円
		自主事業収益 (あいかわ公園) 21,094 千円
自主事業 (乗物) 34,473 千円		
補助金等収益 5,381 千円		
法人運営事業 13,694 千円		
基本財産運用益 13,694 千円		
R3年度	469,780 千円	公益目的事業 385,711 千円
		基本財産・特定資産運用益 3,504 千円
		参加者負担金等収益 8,968 千円
		助成金収益 400 千円
		自主事業収益 (工芸工房村等) 5,178 千円
		受託事業収益 (県、国) 358,794 千円
		補助金等収益 5,826 千円
		雑収益 3,041 千円
		収益事業等 71,500 千円
		特定資産運用 720 千円
		自主事業収益 (湖畔有料等) 21,307 千円
		自主事業収益 (あいかわ公園) 22,629 千円
自主事業 (乗物) 20,274 千円		
補助金等 6,569 千円		
法人運営事業 12,569 千円		
基本財産運用益 12,569 千円		
R4年度	525,282 千円	公益目的事業 399,944 千円
		基本財産・特定資産運用益 3,015 千円
		参加者負担金等収益 11,692 千円
		助成金収益 400 千円
		自主事業収益 (工芸工房村等) 9,292 千円
		受託事業収益 (県、国) 375,006 千円
		補助金等収益 480 千円
		雑収益 59 千円
		収益事業等 112,116 千円
		特定資産運用益 720 千円
		自主事業収益 (湖畔有料等) 29,549 千円
		自主事業収益 (あいかわ公園) 33,456 千円
自主事業 (乗物) 46,901 千円		
補助金等収益 1,490 千円		
法人運営事業 13,222 千円		
基本財産運用益 13,222 千円		

様式 1

R5年度	502,431千円	公益目的事業		383,489千円	
		基本財産・特定資産運用益	3,019千円		
		参加者負担金等収益	12,011千円		
		助成金収益	433千円		
		自主事業収益（工芸工房村等）	12,590千円		
		受託事業収益（県、国）	354,156千円		
		補助金等収益	1,041千円		
		雑収益	239千円		
		収益事業等		105,491千円	
		特定資産運用益	720千円		
自主事業収益（湖畔有料等）	23,070千円				
自主事業収益（あいかわ公園）	33,131千円				
自主事業（乗物）	44,765千円				
雑収益	3,805千円				
法人運営事業		13,451千円			
基本財産運用益		13,451千円			

R6年度	502,431千円	公益目的事業		383,489千円	
		基本財産・特定資産運用益	3,019千円		
		参加者負担金等収益	12,011千円		
		助成金収益	433千円		
		自主事業収益（工芸工房村等）	12,590千円		
		受託事業収益（県、国）	354,156千円		
		補助金等収益	1,041千円		
		雑収益	239千円		
		収益事業等		105,491千円	
		特定資産運用益	720千円		
自主事業収益（湖畔有料等）	23,070千円				
自主事業収益（あいかわ公園）	33,131千円				
自主事業（乗物）	44,765千円				
雑収益	3,805千円				
法人運営事業		13,451千円			
基本財産運用益		13,451千円			
R7年度	502,431千円	公益目的事業		383,489千円	
		基本財産・特定資産運用益	3,019千円		
		参加者負担金等収益	12,011千円		
		助成金収益	433千円		
		自主事業収益（工芸工房村等）	12,590千円		
		受託事業収益（県、国）	354,156千円		
		補助金等収益	1,041千円		
		雑収益	239千円		
		収益事業等		105,491千円	
		特定資産運用益	720千円		
自主事業収益（湖畔有料等）	23,070千円				
自主事業収益（あいかわ公園）	33,131千円				
自主事業（乗物）	44,765千円				
雑収益	3,805千円				

様式 1

(2) 支出 (R3 年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み R 元年度決算額を参考に推計)

年 度	総支出 (千円)	内 訳	
R 2 年度	449,648 千円	人件費	218,437 千円
		直接事業費	231,211 千円
		公益目的事業	189,780 千円
		収益事業等	21,075 千円
		法人運営事業	4,643 千円
		共通経費	7,958 千円
R 3 年度	467,876 千円	減価償却費	7,755 千円
		人件費	245,297 千円
		直接事業費	207,331 千円
		公益目的事業	179,019 千円
		収益事業等	25,240 千円
		法人運営事業	3,072 千円
共通経費	9,617 千円		
R 4 年度	524,255 千円	減価償却費	5,631 千円
		人件費	273,594 千円
		直接事業費	239,039 千円
		公益目的事業	204,589 千円
		収益事業等	31,806 千円
		法人運営事業	2,644 千円
共通経費	8,099 千円		
R 5 年度	502,101 千円	減価償却費	3,523 千円
		人件費	275,482 千円
		直接事業費	206,025 千円
		公益目的事業	172,213 千円
		収益事業等	31,118 千円
		法人運営事業	2,694 千円
共通経費	10,550 千円		
R 6 年度	502,101 千円	減価償却費	10,044 千円
		人件費	275,482 千円
		直接事業費	206,025 千円
		公益目的事業	172,213 千円
		収益事業等	31,118 千円
		法人運営事業	2,694 千円
共通経費	10,550 千円		
R 7 年度	502,101 千円	減価償却費	10,044 千円
		人件費	275,482 千円
		直接事業費	206,025 千円
		公益目的事業	172,213 千円
		収益事業等	31,118 千円
		法人運営事業	2,694 千円
共通経費	10,550 千円		

様式 1

(3) 自律的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針

- ・ 県指定管理、国受託等受託事業の確実な実施による収入の確保
- ・ 経営目標値を設定した乗物、駐車場、売店等の収益事業による収入の確保
- ・ 経営目標値を設定した工芸工房村体験、クラフト体験等自主事業による収入の確保
- ・ 市場の金利動向等を勘案し元本保全の安全性と収益性を確保した基本財産、特定資産の運用
- ・ 受益者負担の視点に立ったイベント等参加者負担金

様式 1

8. 観光地域づくり法人形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

神奈川県、相模原市、厚木市、愛川町、清川村は、当該都道府県及び市町村における地域連携 DMO として、公益財団法人宮ヶ瀬ダム周辺振興財団の登録更新に賛同します。

9. マネジメント・マーケティング対象区域が他の地域連携 DMO や地域 DMO と重複する場合の役割分担について

私どもは地域連携 DMO として、対象区域を神奈川県愛甲郡愛川町、同郡清川村、厚木市飯山・七沢地区、及び相模原市緑区の一部の 4 自治体にまたがる地域全体を一つのエリアと捉えた活動を推進している。一方、(公社)相模原市観光協会は相模原市全域を対象区域とした DMO である。

私どもは地域連携 DMO の広域性を活かし、ひとつの自治体（地域）にこだわらない市町村の垣根を超えた事業展開に取り組んでいる所である。

二つの DMO 対象区域が重複する区域での活動が予定される場合は、事前に連絡調整を行うとともに、相互協力しお互いの活動の活性化に繋がる関係性を築いていきたい。

様式 1

10. 記入担当者連絡先

担当者氏名	遠藤 肇
担当部署名 (役職)	総務経営課 課長補佐
郵便番号	243-0111
所在地	神奈川県愛甲郡清川村宮ヶ瀬 940-4
電話番号 (直通)	046-288-3535
F A X 番号	046-288-3961
E - m a i l	info@miyagase.or.jp

様式 1

1 1. 関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県・市町村名	神奈川県
担当者氏名	今野 俊範
担当部署名（役職）	政策局政策部土地水資源対策課グループリーダー
郵便番号	231-8588
所在地	神奈川県横浜市中区日本大通 1
電話番号（直通）	045-210-3123
F A X 番号	045-210-8820
E - m a i l	suigen.4ny3@pref.kanagawa.lg.jp

都道府県・市町村名	相模原市
担当者氏名	田倉五己
担当部署名（役職）	環境経済局経済部津久井地域経済課長
郵便番号	252-5172
所在地	神奈川県相模原市緑区中野 633
電話番号（直通）	042-780-1401
F A X 番号	042-784-7474
E - m a i l	Tsukui-keizai@city.sagamihara.kanagawa.jp

都道府県・市町村名	厚木市
担当者氏名	大貫博之
担当部署名（役職）	産業振興部観光振興課長
郵便番号	243-8511
所在地	神奈川県厚木市中町 3-17-17
電話番号（直通）	042-225-2820
F A X 番号	046-223-0174
E - m a i l	3850@city.atsugi.kanagawa.jp

都道府県・市町村名	愛川町
担当者氏名	齋藤伸介
担当部署名（役職）	環境経済部商工観光課長
郵便番号	243-0392
所在地	神奈川県愛甲郡愛川町角田 251-1
電話番号（直通）	046-285-2111 内線 3520
F A X 番号	046-286-5021
E - m a i l	syoko@town.aikawa.kanagawa.jp

様式 1

都道府県・市町村名	清川村
担当者氏名	村上 貴史
担当部署名（役職）	産業観光課長
郵便番号	243-0195
所在地	神奈川県愛甲郡清川村煤ヶ谷 2216
電話番号（直通）	042-288-3864
F A X 番号	046-288-1909
E - m a i l	sankan@town.kiyokawa.kanagawa.jp

記入日：令和5年7月1日

基礎情報

【マネジメント・マーケティング対象とする区域】

神奈川県(全域)愛川町、清川村
(一部地域)相模原市、厚木市

【設立時期】平成4年10月1日

【設立経緯】

② 観光地域づくり法人 が主導して 行政や関係団体をメンバーとする
ワーキンググループなどの委員会等を設置

【代表者】 理事長 仲谷 政二郎

【マーケティング責任者(CMO)】 常務理事兼事務局長 志村政浩

【財務責任者(CFO)】常務理事兼事務局長 志村政浩

【職員数】 129人(常勤16人(正職員13人、出向3人)、非常勤15人)

【主な収入】 公益目的事業(受託業務)399,百万円、収益事業 112百万円(R4年度)

【総支出】 524百万円(人件費273百万円、直接事業費250百万円(R4年度))

【連携する主な事業者】

各市町村観光事業者、域内公共交通事業者等

KPI(実績・目標)

※()内は外国人に関するもの。

項目		2020 (R2)年	2021 (R3)年	2022 (R4)年	2023 (R5)年	2024 (R6)年	2025 (R7)年
旅行消費額 (円)	目標	1,080,000 ()	1,090,000 ()	1,090,000 ()	1,090,000 ()	1,090,000 ()	1,090,000 ()
	実績	476,543 ()	617,900 ()	626,404 ()	—	—	—
延べ 宿泊者数 (千人)	目標	85 ()	85 ()	85 ()	85 ()	85 ()	85 ()
	実績	20 ()	31 ()	54 ()	—	—	—
来訪者 満足度 (%)	目標	82 ()	82 ()	82 ()	82 ()	82 ()	82 ()
	実績	94.2 ()	96.6 ()	94.1 ()	—	—	—
リピーター率 (%)	目標	87 ()	87 ()	87 ()	87 ()	87 ()	87 ()
	実績	94.1 ()	84.2 ()	84.9 ()	—	—	—

戦略

【主なターゲット】

- ①首都圏近郊の家族連れ客
- ②スポーツ・レクリエーション愛好者

【ターゲットの誘客に向けた取組方針】

- ①総合案内・ワンストップ機能の強化。
- ①地域活性化や水源環境理解促進に向けた魅力あるイベントの開催。
- ①自然環境や地場産業と結びついた体験学習の場づくり
- ①地域観光ブランド、稼ぐ力の確立
- ①3拠点の回遊性の向上

- ②カヌーの「宮ヶ瀬湖」事業の充実
- ②楽しみながら健康増進ができる環境づくり
- ②森と湖の中での本格的なスポーツ

【観光地域づくりのコンセプト】

都心から一番近いオアシス 水源地宮ヶ瀬

具体的な取組

【観光資源の磨き上げ】

- ・カヌー体験教室、セグウェイ体験・ツアーの実施
- ・地域クーポン券の発行
- ・ツアーの開発・企画
- ・宮ヶ瀬ダム貯蔵酒のプロデュース
- ・宮ヶ瀬ご当地グルメ開発
- ・宮ヶ瀬周辺オリジナルミニドラマ作成・PR等
- ・宮ヶ瀬湖周辺AIオンデマンドバス実証実験

【受入環境整備】

- ・総合案内所「ミーヤ館」でのワンストップ窓口
- ・施設のWi-Fi整備
- ・多言語緊急事態対応アプリを搭載したタブレットを各案内施設に配置。

